SONY

テレビサイドPC

VGX-TP1Vシリーズ
取扱説明書

SONY
VGX-TP1Vシリーズ
VAIO

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書（本書）をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

接続と設定ガイド

設置・接続から設定まで、バイオを使うための準備の方法を知ることができます。
デジタルハイビジョンチューナー VGF-DT1との接続・設定方法もこのガイドに書かれています。

画面で見るマニュアル

バイオ電子マニュアル

見るには

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［バイオ電子マニュアル］をクリックする。

バイオ使用上、必要な情報をすべて記載しています。検索機能を使って、取扱説明書（本書）よりもすばやく目的の操作を探せます。

VAIOナビ

見るには

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［VAIOナビ］をクリックする。

目的の項目を一覧から選んでいくことで
最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

重要なお知らせ

見るには

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［重要なお知らせ］をクリックする。

バイオを使ううえでご覧いただきたい情報です。

ヘルプ

見るには

各ソフトウェアの［ヘルプ］メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

テレビ／ミュージック／フォト／DVD

増設／バックアップ／リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／主な仕様／注意事項

テレビサイドPC

VGX-TP1Vシリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。

この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の主な仕様については、「主な仕様」(123ページ)をご確認ください。

VGX-TP1VSをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。特に記載のない場合、本体のイラストはVGX-TP1Vを使用しています。

画面のデザインについて

Windows Vistaの画面デザインには、「Windows Aero」や「Windows Vista ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」ソフトウェアは、Windows Vista Home PremiumおよびWindows Vista Ultimate搭載モデルにのみ、インストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「テレビチューナー搭載モデル」と書かれているときは、テレビチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認する場合は「本機に付属されているソフトウェア」(124ページ)をご覧ください。

目次

「バイオ電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリック！

「バイオ電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリック！

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／主な仕様／注意事項

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCG-291N

電波法に基づく認証について

本機内蔵のワイヤレスLANカード／レシーバおよび付属のキーボードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／レシーバおよび付属のキーボードを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／レシーバおよび付属のキーボードに貼られている証明ラベルをはがすこと

ワイヤレスLANアンテナは必ず付属のものをご使用ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40mです。

ワイヤレスLAN機能について

本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
詳細については、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.html
をご覧ください。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）について

- キーボードに内蔵されているFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
- 使用周波数は、13.56 MHz帯です。
- キーボードに内蔵されているFeliCaポートを分解、改造したり、型式指定表示を消すと、法律により罰せられることがあります。
周囲で複数のリーダー /ライターをご使用の場合、1m以上間隔をあけてお使いください。
また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

ディスプレイ出力のHDCP対応について

本機は、HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応しており、著作権保護を目的にデジタル映像信号の伝送路を暗号化することが可能です。
これにより著作権保護を必要とするコンテンツを再生・出力することが可能となり、幅広いコンテンツを高画質のまま楽しむことができます。
著作権保護されたコンテンツを再生する場合には、HDCP規格に対応したディスプレイが接続されている必要があります。非対応のディスプレイを接続した場合は、著作権保護されたコンテンツは再生または表示できません。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://www.sony.co.jp/SonyInfo/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：（03）3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
（[サービスとサポート] –［お問い合わせ／アフターサービス］–［使用済みコンピュータの回収について］をクリックする。）

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、http://www.sony.co.jp/SonyInfo/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

アナログテレビ放送から、デジタルテレビ放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。
今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められております。

この説明書の説明図や画面について

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載される機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがございます。あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

↓

1. 電源を切る
2. 電源コードや接続ケーブルを抜く
3. VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

行為を指示する記号

指示

アース線を接続せよ

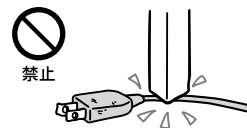
プラグをコンセントから抜く

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

禁止

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水ぬれ禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

内部をむやみに開けない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
- 各種の拡張ボード（基板）を取り付けたりメモリを増設する場合など、コンピュータの内部を開ける必要があるときは、本機の電源コードを抜き、取扱説明書の周辺機器の拡張のページで指定された方法に従い、部品や基板などの角で手や指にけがをしないように注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

禁止

火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

禁止

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、ネットワーク（LAN）ケーブル、アンテナ接続ケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

本機は日本国内専用です

指示

交流100Vでお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

LANコネクタに指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

禁止

本機のLANコネクタに下記のネットワーク（LAN）や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク（LAN）
- 一般電話回線
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内で使用しない

禁止

ワイヤレスLAN機能を停止してください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

禁止

ワイヤレスLAN機能を停止してください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

禁止

ワイヤレスLAN機能を停止してください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

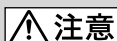
画面を長時間継続して見ない

テレビなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
テレビ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードを使いすぎない

キーボードなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

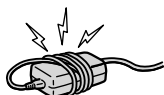
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から15cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない

リアカバーをしっかり取り付ける

リアカバーをしっかり取り付けていないと、本体後面に接続したケーブル類に力を加えた際、リアカバーがはずれる場合があります。はずれたリアカバーを踏むなどして、けがの原因となることがあります。

本機を他の機器と重ねておくときは位置に気をつける

本機と他の機器を重ねておく際に位置がずれていると、落下して、故障やけがの原因となることがあります。

縦置きしない

禁止

本機を縦置きすると、状態が不安定となり、転がって故障したり、周囲を傷つけたりすることがあります。

安定した場所に置く

注意

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

運搬時は慎重に

注意

コンピュータを運搬するときは、側面下部に左右から手を入れて持ち、安定した姿勢で運んでください。前面および後面リアカバー部分に手をかけて持たないでください。運搬中にバランスを崩すと落下によりけがの原因となることがあります。

本機の上に乗らない、指定以外の製品を乗せない

禁止

本機の上に下記以外の製品を乗せないでください。また、本機の上に2台以上積み重ねないでください。

- 地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー VGF-DT1
- テレビサイドPC　VGX-TP1シリーズ、VGX-TP1Vシリーズ

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。また、積み重ねによる変色が生じることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

注意

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

注意

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

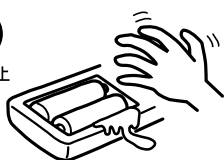
禁止

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

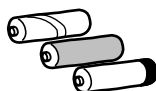
電池は乳幼児の手の届かない所に置く

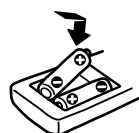
電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

市販のアルカリまたはマンガン電池（単三形）以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示にあわせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

VAIOでできる

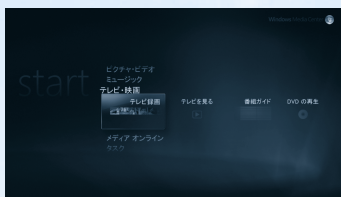
VAIOは、インターネットや
メール、ワープロや表計算など
基本的な機能に加え、
まるでAV機器のように、
手軽に映像や音楽を楽しめる、
充実のパソコンです。

リビングルームで楽しむ

テレビ DVD

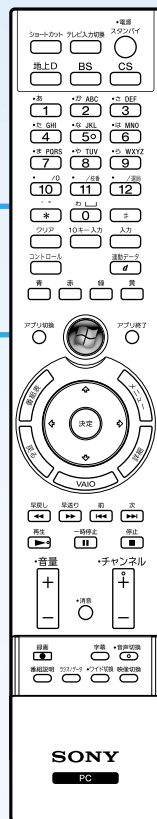
リビングルームのテレビに接続して、
リモコンひとつで、テレビやビデオ、DVDなどを
見ることができます。
AV機器を扱うような手軽さで操作できます。

テレビを見る・録画する

Windows Media Centerを使います。
「テレビ・ビデオ」(21ページ)

リモコンで操作する

「リモコンの各部名称」(121ページ)

DVDを見る

WinDVDなどを使って再生します。
「DVD」(35ページ)

その他の機能

- Suicaやおサイフケータイを活用できるFeliCaポートを搭載
- リビングルームに溶け込むデザイン

3大機能

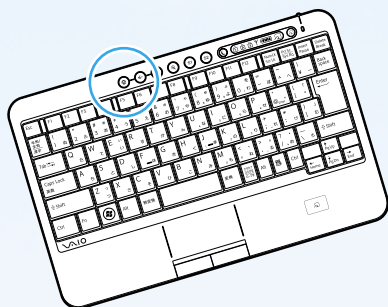
テレビとリモコンで楽しむ

インターネット

VAIO リモコンブラウザーを使えば、リモコンを使って簡単にテレビでインターネットを楽しめます。

メイン画面

お気に入り一覧画面

VAIO リモコンブラウザーは、リモコンのVAIOボタンを押すと表示されるVAIO ランチャーから起動できます。

キーを押しても起動できます。

生活の中に溶け込む

LifeFLOW

VAIOを使わないときも、LifeFLOWでBGMを流したり、時計、カレンダーなどを表示したりできます。VAIOにためた写真データをスライドショーで表示することもできます。

ビジュアライザ

写真（スライドショー）

世界時計

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［LifeFLOW］をクリックして起動します。
スクリーンセーバーに設定することもできます。

電源を入れる

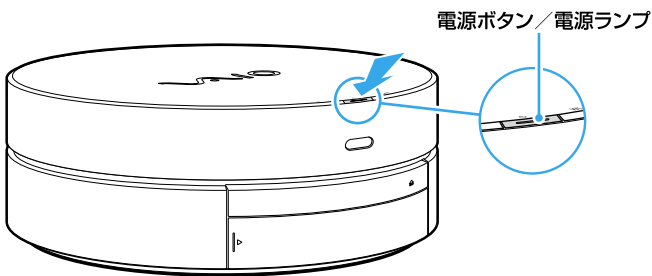
テレビと本機の電源を入れます。

1 テレビの電源ボタンを押す。

ヒント
電源ボタンの位置はお使いのテレビによって異なります。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 テレビの入力を切り換える。

本機をつないだコネクタにテレビの入力を切り換えます。

3 本機の電源ボタンを押す。

本機の電源が入り、電源ランプが点灯して、Windowsが起動します。
4秒以上電源ボタンを押したままにすると、電源が入りません。

ヒント
- 電源を入れたあと、コンピュータを操作せずにいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、本機の電源ランプがオレンジ色で点灯します。省電力機能について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモードにする]をクリックする。）
- お買い上げ時の設定では、本機の画像がテレビの画面より小さく表示されたり、表示がちらついたりする場合がありますが、故障ではありません。調整方法については、「接続と設定ガイド」の「設定4：画像の大きさや表示を調整する」をご覧ください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。「接続と設定ガイド」の「Windowsを準備する」の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

！ご注意
- Windowsのセットアップ画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 本機を安心してご使用になるには、大切なデータを失わないための対策や、第三者から本機を守るための対策が必要です。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[インターネット]－[インターネットについてのご注意]－[セキュリティについて]をクリックする。）

ヒント
- キーボードがコネクトされている場合は、キーボードの（電源／スタンバイ）ボタンを押しても、電源を入れることができます。
- テレビの電源が入っているとき、本機のWindowsが起動する際に、画面が乱れることがあります。これは、HDCPによるセキュリティ保護のための認証を行っている際に起こることがある現象で、故障ではありません。
- ソニー製HDMIコントロール対応のテレビを接続している場合は、リモコンで本機とテレビの電源を同時に入れることができます。詳しくは、「接続と設定ガイド」の「リモコンで本機とテレビの電源を同時に入れる（ワンタッチプレイ）」をご覧ください。

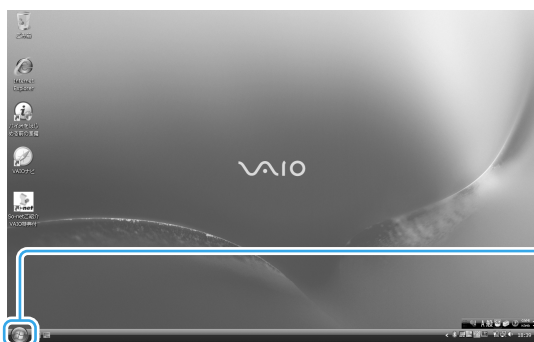
2回目以降に電源を入れるときは

本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

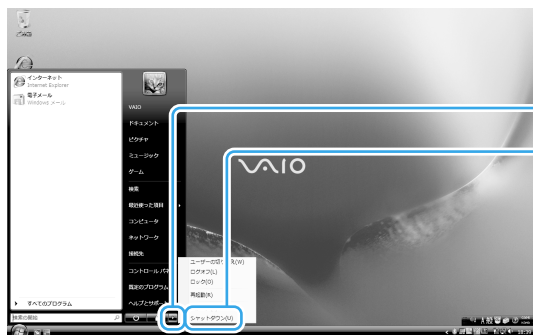
ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
「Norton Internet Security」ソフトウェアについて詳しくは、「接続と設定ガイド」の「「Norton Internet Security」ソフトウェアについて」をご覧ください。

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

ヒント
デスクトップ画面のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

1 (スタート)ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2 ボタン－[シャットダウン]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、電源ランプが消灯します。

!ご注意
本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。

ヒント
お買い上げ時の設定では、 ボタンをクリックするとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリとハードディスクに保持したまま(ハイブリッドスリープ、お買い上げ時の設定)、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約することができます。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモードにする]をクリックする。)

画面で見るマニュアルの使いかた

本書の次ページ以降で、本機の使いかたや困ったときの解決方法を紹介しています。「バイオ電子マニュアル」や「VAIOナビ」では、さらに詳しく紹介していますので、ぜひご活用ください。

バイオ電子マニュアルの使いかた

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。
画面の各項目の詳しい説明は、「「バイオ電子マニュアル」を見る」（81ページ）をご覧ください。

VAIOナビの使いかた

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIOナビ］をクリックする。

「VAIOナビ」が表示されます。

テレビ・ビデオ

(アナログテレビチューナー搭載モデル)

テレビ番組を見る

テレビ番組の視聴は「Windows Media Center」ソフトウェアで行います。
起動も選局もリモコンで操作できます。

1

リモコンの ボタンを押す。

「Windows Media Center」ソフトウェアが起動し、メニューが表示されます。

2

リモコンの上下ボタンで［テレビ・映画］を選択し、左右ボタンで［テレビを見る］を選択して、決定ボタンを押す。

3 リモコンのチャンネルボタンで見たいチャンネルを選択する。

ヒント
- チャンネルの変更は、リモコンのチャンネル数字ボタンでも行えます。
- 音量は、音量ボタンで調節できます。

録画予約をする

「VAIO Video Explorer」ソフトウェアからインターネット上のテレビ番組情報サイトの番組表を使って録画予約を行います。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Video Explorer]をクリックする。

「VAIO Video Explorer」が起動します。

2 画面上部のツールバーから (録画予約)をクリックする。

「テレビ王国」の番組表が表示されます。

ヒント
「テレビ王国」の会員登録を行っている場合は、My番組表が表示されます。

3 番組表から録画したい番組上の[iEPG]をクリックする。

「基本設定」タブに番組情報が反映された状態の予約登録画面が表示されます。

4 [基本設定]タブの内容を確認し、[OK]をクリックする。

!ご注意
- インターネット番組表を利用するには、インターネットに接続しておく必要があります。
- MyEPGの「iEPG チューナー選択」で「ワンセグ」に設定している場合は、予約することができません。

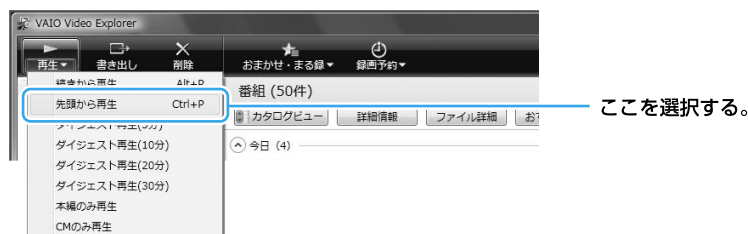
録画した
テレビ番組を見る

「VAIO Video Explorer」ソフトウェアで管理している番組を再生します。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Video Explorer]をクリックする。

「VAIO Video Explorer」が起動します。

2 再生したい番組を選択する。

3 画面上部のツールバーの (再生)下にある▼をクリックして表示されたメニューから[先頭から再生]をクリックする。

「VAIO Emotional Player」ソフトウェアが起動し、番組の再生が開始されます。

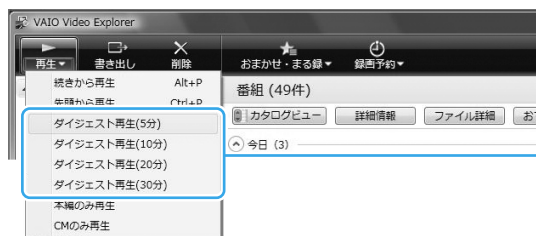
ダイジェストで
テレビ番組を見る

録画したテレビ番組をダイジェストで再生することができます。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Video Explorer]をクリックする。

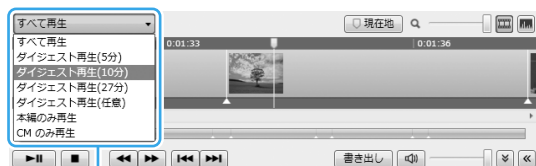
「VAIO Video Explorer」が起動します。

2 再生したい番組を選択する。

3 画面上部のツールバーの (再生)下にある▼をクリックして表示されたメニューから[ダイジェスト(**分)再生]をクリックする。

「VAIO Emotional Player」ソフトウェアが起動し、番組を**分のダイジェストで再生します。

ヒント
(**分)の部分は、録画した番組の長さによって異なります。

ダイジェスト再生に切り替えるには

先頭から再生中などでも、ダイジェスト再生に切り替えることができます。
「VAIO Emotional Player」ソフトウェアのフィルムロールエリアにあるドロップダウンリストから[ダイジェスト再生(**分)]を選択してください。

！ご注意
再生する番組によっては、[ダイジェスト再生(**分)]が選択できない場合があります。

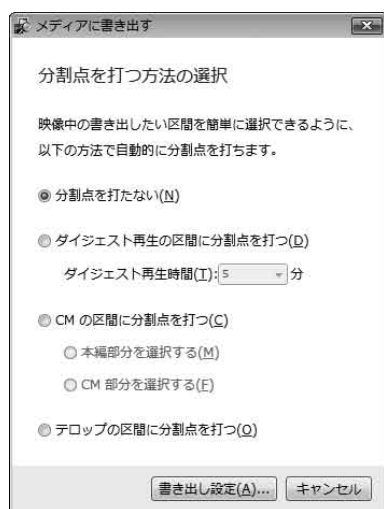
録画した番組を“メモリースティック”に書き出す

録画した番組を“メモリースティック”に書き出すことができます。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Video Explorer]をクリックする。

「VAIO Video Explorer」が起動します。

2 “メモリースティック”に保存したい番組を選択する。

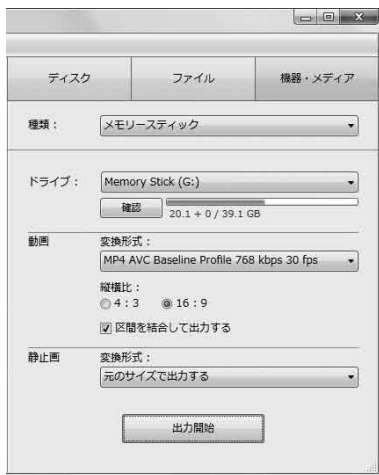
3 画面上部のツールバーから （書き出し）をクリックする。

「メディアに書き出す」画面が表示されます。

4 書き出し時の分割点について設定する。

ヒント
分割点の設定方法について詳しくは、「VAIO Video Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

5 [書き出し設定]をクリックする。

「VAIO Content Exporter」ソフトウェアが起動します。

画面右側の［機器・メディア］をクリックする。

書き出し時の種類やドライブなどを設定し、書き出す機器を接続したり、メディアを挿入したりする。

8

［出力開始］をクリックする。

ミュージック

音楽を取り込む

お気に入りの音楽CDをバイオに録音できます。
自分だけの音楽ライブラリができあがります。

！ご注意
操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[SonicStage]－[SonicStage]をクリックする。

「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 取り込みたい音楽CDをドライブに入れる。

ヒント
「SonicStage」ソフトウェアではじめて音楽CDを利用するときは、ドライブのチェックや、音楽CDを入れたときに自動的に録音するかどうかを設定します。表示される画面の指示に従って操作してください。

3 [音楽を取り込む]にポインタをあわせ、メニューから[CDを録音する]をクリックする。

！ご注意
「VAIO MusicBox」ソフトウェアで音楽を再生する場合は、手順4を行う前に をクリックして表示された「CD録音フォーマットの設定」画面で、フォーマットから[MP3]を選択してください。

4 をクリックする。

音楽の取り込みがはじまり、「マイ ライブラリ」に保存されます。

ここをクリックする。

ヒント

- 画面右下の［CD 情報取得］をクリックすると、インターネット上のCD情報サービスを利用して、音楽CDのアルバム名や曲名などの情報を自動的に取り込むことができます。
  また、アルバム名、アーティスト名およびタイトルは、画面上で直接入力することもできます。ただし、録音中はこれらの操作はできません。
  詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 取り込みたくない曲がある場合は、をクリックする前に、CDトラック番号のをクリックしてにします。

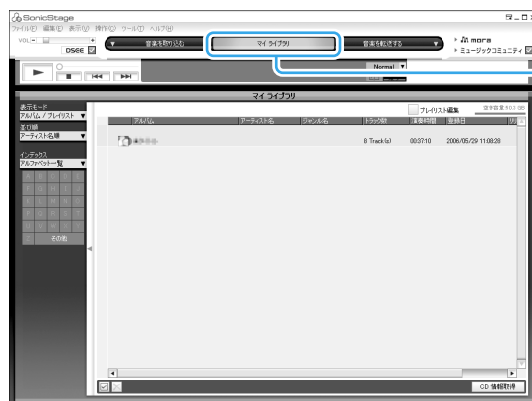
音楽を聞く

取り込んだ音楽コンテンツをジュークボックス感覚で楽しむことができます。音楽CDを交換する手間はありません。

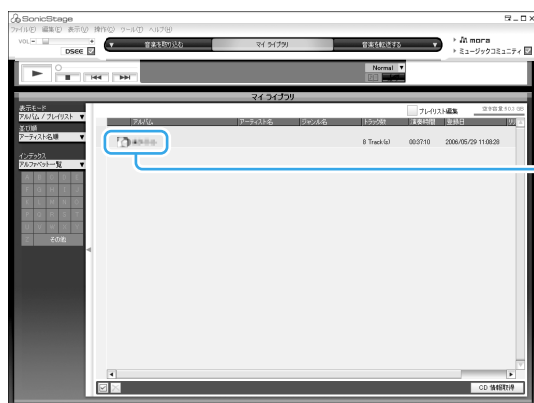
！ご注意

操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[SonicStage]ー[SonicStage]をクリックする。

「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 [マイ ライブラリ]をクリックする。

「マイ ライブラリ」画面が表示されます。

3 再生したい曲を含むアルバムをダブルクリックする。

アルバムに収められている曲の一覧が表示されます。

ヒント
- 「マイ ライブラリ」を「すべての曲一覧」モードで表示している場合は、この操作は不要です。
- アルバムを選択して画面右下の[CD 情報取得]をクリックすると、インターネット上のCD情報サービスを利用して、音楽CDのアルバム名や曲名などの情報を自動的に取り込むことができます。ただし、複数のアルバムを指定して情報を検索することはできません。
  詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 聞きたい曲をクリックして選択し、をクリックする。

音楽が再生されます。

ヒント
曲をダブルクリックして再生することもできます。

音楽CDを作る

曲やアルバムを選んでお好みの音楽CDを作れます。

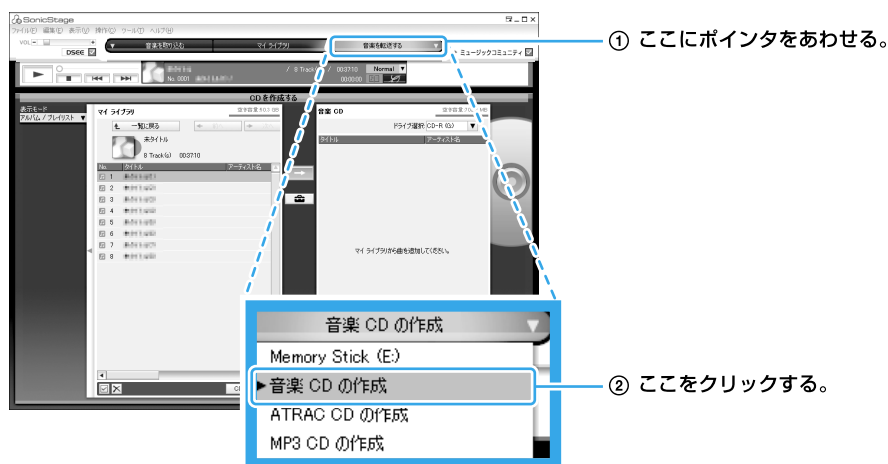
!ご注意

- 音楽CDを作成する場合は、あらかじめ「使用できるディスクとご注意」(131ページ)をご覧ください。
- 操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

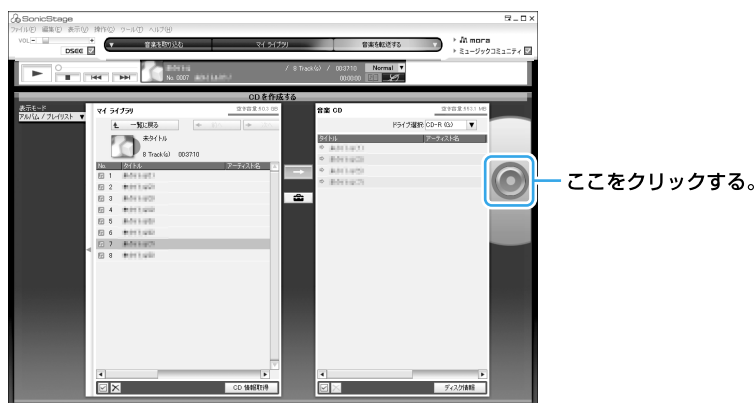
1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[SonicStage]－[SonicStage]をクリックする。

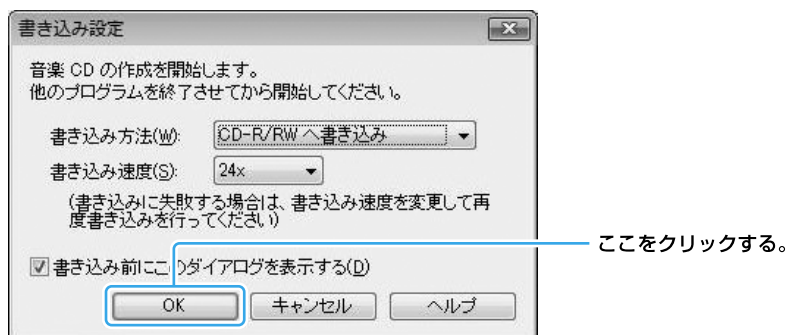
「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 ブランクメディア(データの書き込まれていないCD-R、CD-RW)をドライブに入れる。

3 [音楽を転送する]にポインタをあわせ、[音楽CDの作成]をクリックする。

4 CDにしたい曲やアルバムを選択し、[→] をクリックする。

ヒント
- 曲の一覧は、アルバムをダブルクリックすると表示されます。
- マイ ライブラリの曲をCD-R／CD-RWに書き込む場合は、書き込みたい曲をあらかじめ「プレイリスト」などにまとめておくと便利です。

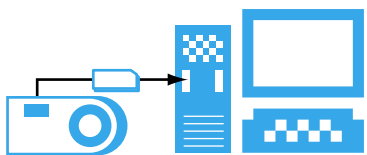
5 CDにしたい曲やアルバムをすべて選択したら、[ ] をクリックする。

「書き込み設定」画面が表示されます。

6 [OK]をクリックする。

書き込みが始まります。

フォト

写真を取り込む

デジタルスチルカメラの写真を取り込んでバイオで管理できます。

1 USBコネクタにデジタルスチルカメラを接続するか、“メモリースティック”などのメモリーカードをスロットに入れる。

Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されます。

ヒント

- デジタルスチルカメラやメモリカードなどのメディアをコンピュータに接続する方法については、お使いの機器やメディアの取扱説明書をご覧ください。
- コンピュータの設定によっては、Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されないことがあります。この場合は（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows フォト ギャラリー]をクリックして「Windows フォト ギャラリー」ソフトウェアを起動し、[ファイル]メニュー－[ギャラリーへのフォルダの追加]をクリックします。
「ギャラリーへのフォルダの追加」画面で取り込みたいメディアやカメラを選択して[OK]をクリックすると、画像とビデオの読み込みが開始されます。

2 [画像の取り込み - Windows使用]をクリックする。

3 「画像とビデオを読み込んでいます」画面が表示されたら、「これらの画像をマーク」を設定する。

マーク欄にマークを直接入力するか、ドロップダウンリストからマークを選択します。

ヒント

- マークは設定しなくても構いません。
- マークを設定すると、画像にタグを付加して、タグを元に検索や整理ができます。
  タグについては、[オプション]をクリックして表示された画面で設定できます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

4 [読み込み]をクリックする。

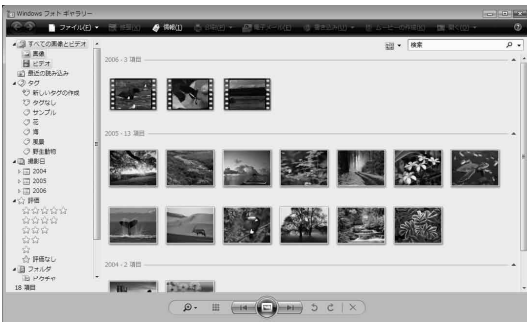
画像の読み込みが開始されます。

これで画像の取り込みは完了です。

写真を見る

取り込んだ写真をWindows フォト ギャラリーで表示します。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows フォト ギャラリー]をクリックする。

「Windows フォト ギャラリー」画面が表示されます。

画面左側の一覧から見たい項目をクリックすると、その項目に該当する写真が表示されます。

- [すべての画像とビデオ]をクリックすると、「Windows フォト ギャラリー」ソフトウェアに取り込まれているすべての写真が表示されます。
- 「タグ」「撮影日」「評価」をクリックして、条件による写真の検索を行うことができます。

DVDを見る

WinDVDでDVDを再生します。

!ご注意

本機でDVDを再生するときは、映像を扱う他のソフトウェアをすべて終了させてください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[InterVideo WinDVD]－[InterVideo WinDVD for VAIO]または[InterVideo WinDVD BD for VAIO]をクリックする。

「WinDVD」ソフトウェアが起動します。

2 再生したいDVDをドライブに入れる。

3 再生する。

「WinDVD」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「WinDVD」のヘルプをご覧ください。

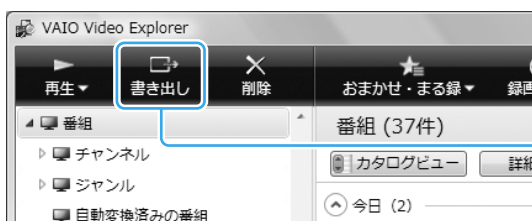
録画した テレビ番組を DVDにする （アナログテレビチューナー搭載モデル）

バイオに録りためたテレビ番組をDVDとして残すことができます。

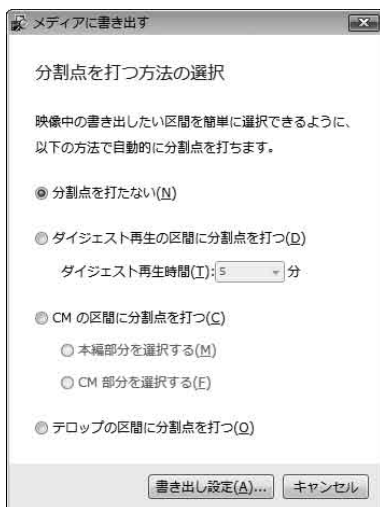
1 （スタート）ボタンー［すべてのプログラム］－［VAIO Video Explorer］をクリックする。

「VAIO Video Explorer」が起動します。

2 DVDに保存したい番組を選択する。

3 画面上部のツールバーから （書き出し）をクリックする。

「メディアに書き出す」画面が表示されます。

4 書き出し時の分割点について設定する。

ヒント
分割点の設定方法について詳しくは、「VAIO Video Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

5 [書き出し設定]をクリックする。

「VAIO Content Exporter」ソフトウェアが起動します。

画面右側の[ディスク]をクリックする。

7 書き出し時の種類やドライブなどを設定し、データの書き込まれていない記録用DVDを本機のドライブに入れる。

[出力開始]をクリックする。

ヒント
DVD作成にかかる時間は、記録する映像の長さとコンピュータの処理速度によって異なります。

増設する

メモリを取り付ける／はずす

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが2か所あり、最大2Gバイトまで増設することができます。
別売りのメモリモジュールを取り付けることにより、メモリを増設します。
2か所のスロットに同じ容量のメモリモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、パフォーマンスが向上します。*

* デュアルチャンネル転送モード対応モデルのみ。対応モデルについては、「主な仕様」(123ページ)をご覧ください。

本機に搭載されているメモリの構成については、「主な仕様」(123ページ)をご覧ください。

メモリを増設するときのご注意

- メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの接続不備や破損、メモリの接続が不十分な事により故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリ増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に水などの液体や異物(ネジなどの金属物など)が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

ヒント

メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。

メモリを取り付けるには

!ご注意

- メモリモジュールの取り付けは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取り付けると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取り付けるときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所(じゅうたんの上など)では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールには、向きがあります。メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ(溝の内側)部分の突起の位置を正しく合わせてください。無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、ACアダプタおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

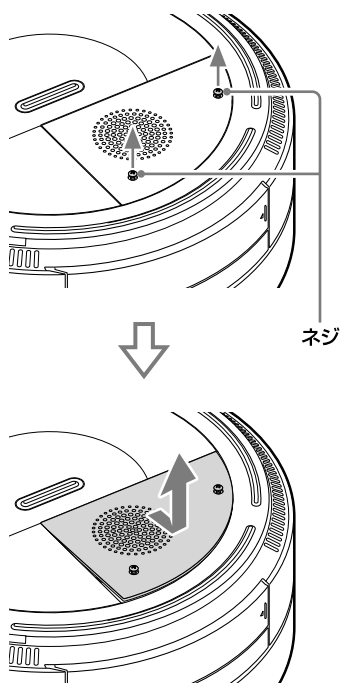
！ご注意

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

2 メモリカバーを取りはずす。

ネジをはずして、メモリカバーを取りはずします。

！ご注意

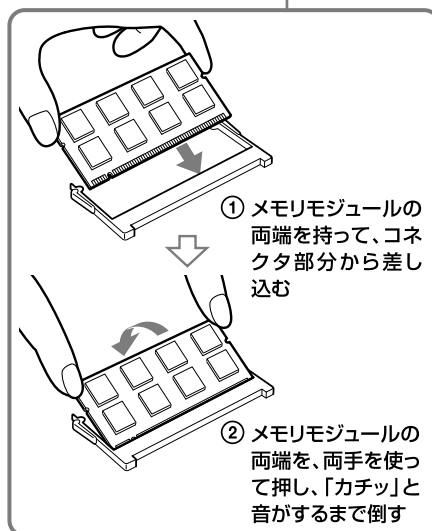
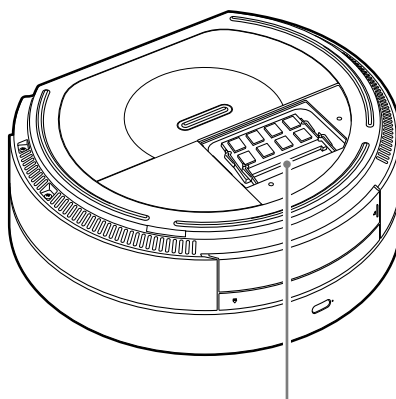
本体を裏返したときに傷がつく場合があります。柔らかい布などを本体の下に敷いて安定させ、本体を保護してから作業してください。

3 メモリモジュールを取り付ける。

メモリモジュールにはエッジコネクタ部分の中央より右側に切り欠きがあります。

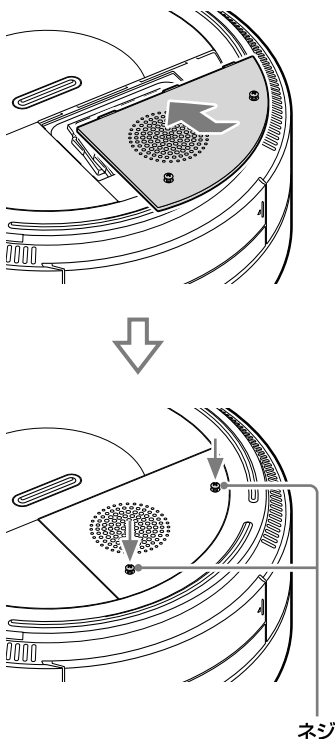
① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝に合わせて、奥までしっかりと差し込む。

！ご注意

エッジコネクタ部分を傷つけないようにご注意ください。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールをゆっくりと倒す。
メモリモジュールの両端が固定されます。
このとき、メモリモジュールの黒いICの部分を触らないでください。

！ご注意

メモリを取り付ける際は、内部に異物を落とさないようにしてください。故障の原因となります。

4 メモリカバーを元に戻し、ネジを留める。

5 手順1で取りはずしたACアダプタと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

メモリ容量を確認するには

メモリモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリ容量を確認してください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオの設定]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

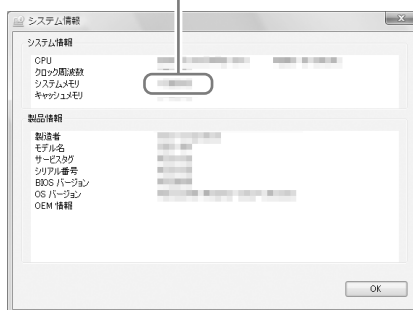
2 [システム情報]をダブルクリックする。

3 [システム情報]をダブルクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

4 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

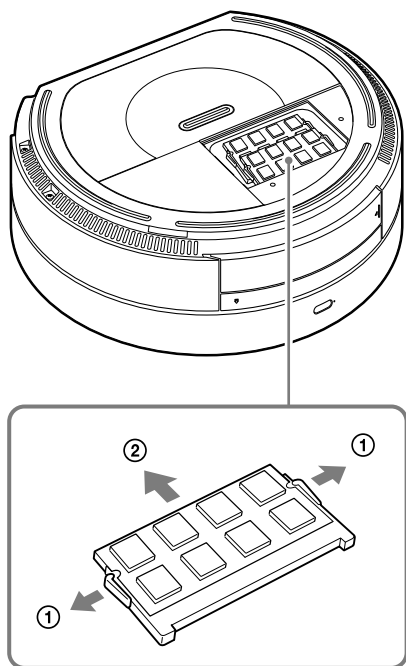
ここを確認する。

メモリを取りはずすには

次の手順でメモリモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。

!ご注意

本機に傷がつかないように布などを敷いてください。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。

!ご注意

- メモリモジュールの取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取りはずすと、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取りはずすときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所(じゅうたんの上など)では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
  - メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

バックアップについて

バックアップとは

バックアップの必要性

バックアップとは、コンピュータに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピュータウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。

バックアップの種類

データのバックアップは、「VAIO リカバリセンター」の「Windows バックアップと復元」で行います。（44ページ）
バックアップには用途に応じて以下の種類があります。

- **ファイルのバックアップ**
  本機に保存したメールや写真などファイルの種類ごとにデータをCDやDVD、外付けハードディスクなどにバックアップすることができます。
  ファイルのバックアップの操作方法について詳しくは、「ファイルをバックアップするには」（45ページ）をご覧ください。

- **Complete PC バックアップ（Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデル）**
  コンピュータ全体のバックアップをすることができます。Complete PC バックアップを使ってバックアップしておくとハードディスクや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。
  Complete PC バックアップの操作方法について詳しくは、「Complete PC バックアップでバックアップするには」（46ページ）をご覧ください。

- **復元ポイント**
  新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる（反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる）場合があります。
  そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。復元ポイントについて詳しくは、「システムの復元ポイントを作成するには」（47ページ）をご覧ください。

ヒント
CD ／ DVDドライブが搭載されていない機種をお使いの場合、バックアップする際に外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブを用意するか、またはC:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成する必要があります。（58ページ）

！ご注意
- 本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償についてはいたしかねますのでご了承ください。
- お買い上げ後はすぐにリカバリディスクを作成してください。本機に不具合が生じ、Windows上の操作でデータをバックアップできない場合に、リカバリディスクにあるバックアップツールを使ってバックアップすることができます。
  リカバリディスクの作成方法については、「リカバリディスクを作成する」（43ページ）をご覧ください。

リカバリディスクを作成する

リカバリディスクについて

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリには、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。
詳しくは、「リカバリする」(52ページ)をご覧ください。

!ご注意

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き替えてしまい、リカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO リカバリセンター」を使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。

リカバリディスクのご提供について(有償)

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html
*マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。カスタマー登録について詳しくは、「接続と設定ガイド」の「カスタマー登録する」をご覧ください。

!ご注意

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリディスクを使うと、暗号化していないハードディスク上のデータを自由に操作することができます。ハードディスクのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクの暗号化機能を使うなどして保護してください。
- ハードディスク上の空き容量が少ない場合は、リカバリディスクを作成できません。

リカバリディスクを作成するには

本機を使用する準備ができたら、はじめに以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

1 **(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。**

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 **画面左側の[リカバリディスクの作成]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。**

3 **内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。**

ディスクの種類選択の画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

!ご注意

- Blu-ray DiscまたはDVD-RAMはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
  使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」(131ページ)をご覧ください。
- お使いの機種によっては、CD-RまたはCD-RWでリカバリディスクを作成できない場合があります。その場合はDVDをお使いください。

5 [次へ]をクリックする。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 選択した種類のディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

リカバリディスクの作成が始まり、現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

!ご注意

- リカバリディスクの作成状況が表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクがドライブから自動的に出てきます。

7 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリディスクの作成が完了するとメッセージが表示されます。

8 [完了]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

「バックアップと復元センター」を使う

「バックアップと復元センター」について

「バックアップと復元センター」を使うと、データのバックアップやバックアップデータの復元、復元ポイントの設定をすることができます。
「バックアップと復元センター」は次の手順で起動します。

1 (スタート)ボタン-[すべてのプログラム]-[VAIO リカバリセンター]-[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[Windows バックアップと復元]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「バックアップと復元センター」画面が表示されます。

(Windows Vista Ultimate / Business搭載モデルをお使いの場合)

（Windows Vista Home Premium ／ Home Basic搭載モデルをお使いの場合）

ファイルをバックアップするには

初めてファイルをバックアップする場合は、下記の手順でバックアップデータの保存先や作成するファイルの種類、スケジュールの設定などを行います。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ファイルのバックアップ」画面が表示されます。

ヒント

「ファイルのバックアップ」画面が表示されない場合は、デスクトップ画面右下の通知領域に表示される[ファイル バックアップを実行中です]というメッセージをクリックしてください。

3 バックアップデータの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

バックアップデータの保存先は、以下の4種類から選択します。

- 外付けハードディスクドライブ（推奨）
- CDまたはDVD
- C:ドライブ以外のドライブ*
- ネットワーク上

* 本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション（C:ドライブ）のみになっています。C:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。（58ページ）
ただし、万一ハードディスクが故障した場合ドライブのデータは失われるので注意してください。

4 バックアップしたいファイルの種類にチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

5 [設定を保存しバックアップを開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

ヒント

スケジュールを設定すると設定した日時で自動的にファイルをバックアップすることができます。必要に応じてスケジュールを設定してください。

スケジュールを設定しない場合は、表示された状態のまま[設定を保存しバックアップを開始]をクリックし、次の手順に進んでください。

6 「バックアップと復元センター」画面で「ファイルのバックアップ」の下にある[設定の変更]をクリックする。

7 「自動バックアップは現在有効になっています。」の右側にある[無効にする]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

これで自動バックアップの機能が無効になります。バックアップの保存先と作成するファイルの種類の設定はそのまま保持されています。
以降、「バックアップと復元センター」画面で[ファイルのバックアップ]をクリックするだけでバックアップすることができます。

!ご注意

- 「SonicStage」ソフトウェアで管理している曲や、画像・情報などのデータは「バックアップと復元センター」ではバックアップできません。「SonicStage バックアップツール」を使ってバックアップしてください。
「SonicStage バックアップツール」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 「Windows Media Center」ソフトウェアで録画したアナログ放送の番組は、「バックアップと復元センター」ではバックアップできません。手動でバックアップしてください。（アナログテレビチューナー搭載モデル）

バックアップからデータを復元するには

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルの復元]をクリックする。

「ファイルの復元」画面が表示されます。

3 [最新バックアップにあるファイル]または[古いバックアップにあるファイル]を選択し、[次へ]をクリックする。

[古いバックアップにあるファイル]を選択した場合は、表示された画面の「日付と時刻」欄から復元したいバックアップファイルの日付を選択して、[次へ]をクリックしてください。

4 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

一覧にデータが表示されていない場合は、[ファイルの追加]や[フォルダの追加]をクリックして表示された画面からバックアップデータを選択し、[追加]をクリックしてください。

5 復元するバックアップデータの保存先を選択し、[復元の開始]をクリックする。

6 「ファイルは正常に復元されました。」と表示されたら、[完了]をクリックする。

Complete PC バックアップでバックアップするには

Complete PC バックアップはWindows Vista Ultimate ／ Business搭載モデルのみお使いになれます。
Complete PC バックアップを使うと、コンピュータ全体のバックアップをすることができます。
ハードディスクや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [コンピュータのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「Windows Complete PC バックアップ」画面が表示されます。

3 バックアップの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

確認画面が表示されます。

4 内容をよく確認してから、[バックアップの開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

5 「バックアップは正常に完了しました。」と表示されたら[閉じる]をクリックする。

!ご注意
Complete PC バックアップはコンピュータ上のすべてのデータをバックアップするため、復元する際にファイルを選択することはできません。
また、Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更したファイルは復元されません。

Complete PC バックアップからデータを復元するには

Complete PC バックアップはWindows Vista Ultimate ／ Business搭載モデルのみお使いになれます。

!ご注意

- バックアップデータを外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブに保存した場合は、復元する前に再度外付けドライブを接続してください。
- データを復元する前に、ファイルのバックアップを使って必要なファイルをバックアップしてください。
  システムの復元を行うと、システムファイルの変更が行われるため、ソフトウェアが正常に起動しないなど不具合が生じる可能性があります。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。
③「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [Windows Complete PC 復元]をクリックする。

「Windows Complete PC 復元」画面が表示されます。
バックアップデータをCDやDVDに保存している場合は、ディスクをドライブに挿入してください。

5 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

6 表示された内容をよく読んでから、[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、復元を実行する場合はチェックボックスにチェックを付け、[OK]をクリックする。

復元が完了すると自動的に再起動し、「システム回復オプション」のキーボード レイアウトの選択画面に戻ります。

システムの復元ポイントを作成するには

システムの復元とは

新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる（反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる）場合があります。
そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。

ヒント

復元ポイントは自動的に作成されますが、手動で作成することもできます。
ソフトウェアやドライバをインストールするときは、念のためインストールする前に手動で復元ポイントを作成することをおすすめします。

システムの復元ポイントを手動で作成する

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 画面左側の「タスク」から[復元ポイントの作成または設定の変更]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 [システムの保護]タブをクリックする。

4 「自動復元ポイント」で復元ポイントを作成したいドライブのチェックボックスにチェックを付け、[作成]をクリックする。

復元ポイントの作成画面が表示されます。

5 復元ポイントを識別するための説明を入力し、[作成]をクリックする。

6 「復元ポイントは正常に作成されました。」と表示されたら、[OK]をクリックする。

「自動復元ポイント」の「最新の復元ポイント」の日時が更新されます。

システムの復元ポイントから復元するには

!ご注意

「SonicStage」ソフトウェアを使用している場合、大切な曲データの消失を防ぐために、システムの復元をする前にあらかじめ「SonicStage バックアップツール」を使って曲データをバックアップしてください。
システムの復元をすると、曲のデータベースの管理情報に不整合が生じ、それまでに録音あるいは取り込んだ曲データのすべてが再生できなくなる場合があります。
システムの復元をしたあとに「SonicStage バックアップツール」で曲データを復元することで、保存した曲データが再生できるようになります。
「SonicStage バックアップツール」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

❑ Windowsが起動する場合は

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 画面左側の「タスク」から[システムの復元を使ってWindows を修復]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムの復元」画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックする。

4 復元させたい日時の復元ポイントを選択して、[次へ]をクリックする。

復元するディスクの確認画面が表示されます。

5 内容をよく確認して[次へ]をクリックする。

復元ポイントの確認画面が表示されます。

6 内容をよく確認して[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

システムの復元が行われ、本機が再起動します。

8 完了画面が表示されるので、[閉じる]をクリックする。

❑ Windowsが起動しない場合は

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント
以下の手順でも行えます。
① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。
③「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

ヒント
ファイルのバックアップを使ってバックアップをした後に変更されたファイルについては、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしてください。（55ページ）

4 [システムの復元]をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。
以降、「Windowsが起動する場合は」の手順3 〜 8に従って操作してください。

ソフトウェアやドライバを復元するには

本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に動かなくなった場合に、正常な状態に戻すことができます。

！ご注意
ソフトウェアやドライバによっては、復元できないものもあります。
お使いの環境によっては「ソフトウェアの再インストール」を行っても、正常に動作しない場合があります。また、再インストールする前に作成したデータが削除されてしまう可能性があります。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[ソフトウェアの再インストール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」をすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

5 復元したいソフトウェアまたはドライバのチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

リカバリ(再セットアップ)

本機の動作が不安定になったり、反応が遅くなったりした場合は、以下のような原因が考えられます。
- コンピュータウイルスに感染した
- Windowsの設定を変更した
- 本機で動作の保証がされていないソフトウェアやドライバをインストールした

このような場合には、次の流れに従って本機の復旧を試みてください。

本機の調子が悪くなったときは

Windowsが起動する場合

Windowsが起動しない場合は「Windowsが起動しない場合」をご覧ください。(51ページ)

手順1
リカバリディスクを作成していない場合は、作成する。(43ページ)

手順2
必要なファイルのバックアップをとる。(45ページ)

手順3
以下のいずれかを実行してみる。
- システムの復元をする。(48ページ)
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使って、システムの復元をしてください。
- ソフトウェアやドライバをインストール後に本機の調子が悪くなった場合は、インストールしたソフトウェアやドライバをアンインストールする。
- 本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に働かなくなった場合は、それらを再インストールする。(49ページ)
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップをしていた場合は、バックアップデータを復元する。(Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデル)(47ページ)
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。

手順4
それでも本機の調子が悪い場合は、リカバリする。(53ページ)

!ご注意
リカバリすると、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

Windowsが起動しない場合

Windowsが起動しないときは、次の流れに従って操作します。

手順1
以下のどちらかを実行してみる。

- システムの復元をする。（48ページ）
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使ってシステムの復元をしてください。
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップしていた場合は、バックアップデータを復元する。（Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデル）（47ページ）
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。最後にComplete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更または作成されたファイルについては、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。（55ページ）

それでもWindowsが起動しない場合は、さらに次の流れに従ってリカバリする必要があります。

手順2
データをバックアップしていなかった場合は、VAIO データレスキューツールで必要なファイルをバックアップする。（55ページ）
本機の調子が悪くなる前にファイルのバックアップを使ってバックアップをしていて、その後に変更または作成されたファイルで必要なファイルがある場合は、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。

手順3
「VAIO ハードウェア診断ツール」でハードウェアを検査する。
「VAIO ハードウェア診断ツール」は、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブ）の検査を行い、交換が必要かどうかを確認するソフトウェアです。
詳しくは「VAIO ハードウェア診断ツール」をご覧ください。

手順4
リカバリする。（54ページ）

リカバリする

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うために必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

!ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。（43ページ）

リカバリ前に確認してください

- 本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 電源以外のすべての周辺機器をはずしてから、作業を行ってください。リカバリに外付けドライブが必要な場合は、ドライブを接続してください。
  周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず最後までリカバリを行ってください。リカバリが完了していない状態で本機を使用した場合、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Windowsからリカバリするには

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。

Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」(54ページ)をご覧ください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

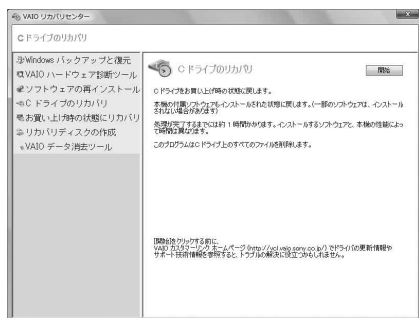
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[C ドライブのリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

ヒント

- C:ドライブ以外に、ご自分でパーティションサイズを変更して新たにドライブを作成している場合など、C:ドライブ以外に保存されているデータは残ります。(58ページ)
- [お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択すると、Windowsがインストールされているハードディスクのデータをすべて消去し、本機のハードディスクをお買い上げ時の状態に戻します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成を元に戻したい場合に選択してください。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」などをすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

警告画面が表示されます。

ヒント

[お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択した場合は、事前にリカバリディスクを作成しておく必要があります。リカバリディスクを作成していない場合は、画面の指示に従って作成してください。

すでに作成済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックしてください。

4 内容をよく読んでから、[同意します]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[開始]をクリックする。

確認画面が表示されます。

5 [はい]をクリックする。

「Windowsのリカバリ中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

ヒント

- リカバリ作業には、お使いの機種によっては数時間かかることがあります。
- Windowsが起動しない状態でリカバリしている場合は、しばらくするとディスクがドライブから自動的に出てきます。
  画面の指示に従って、ディスクの取り出しや入れ替えを行ってください。

6 「完了をクリックしてプログラムを終了してください」と表示されたら［完了］をクリックする。

本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

！ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

7 付属の「接続と設定ガイド」の「Windowsを準備する」の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでリカバリが完了しました。
Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の手順を行ってください。

！ご注意

Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。
② 表示される「自動再生」の画面で［SETUP.EXEの実行］をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。
③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、［ユーザー設定］をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから［マイ コンピュータからすべて実行］をクリックする。
⑤ ［今すぐインストール］をクリックする。
インストールが開始されます。
⑥ インストールが完了したら、［閉じる］をクリックする。

ヒント

Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の［OK］をクリックしてください。
引き続き、Office PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順1から6と同じ手順でインストールしてください。

⑦ （スタート）ボタンー［コンピュータ］をクリックして表示された画面で、［ローカル ディスク(C:)］ー［Program Files］ー［Office 12］ー［Hotfix］をダブルクリックする。
⑧ ［office-kb938574-fullfile-x86-ja-jp(.exe)］をダブルクリックする。
アップデートが開始されます。
⑨ アップデートが完了したら、［はい］をクリックし、本機を再起動する。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
バックアップデータの復元方法について詳しくは、「バックアップからデータを復元するには」（46ページ）をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリするには

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

リカバリディスクを作成していない場合は、以下の手順で行ってください。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順5に進む。

2 キーボード レイアウトを選択し、［次へ］をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、［次へ］をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 ［VAIO リカバリセンター］をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 「Windowsからリカバリするには」（53ページ）の手順2以降の操作を行う。

ヒント
- バックアップしたいデータがある場合は、[VAIO データレスキューツール]をクリックし、バックアップしてください。（55ページ）
- [VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブ）の検査を行うことができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[本機に付属されているソフトウェア]－[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックする。）

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。（56ページ）

VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。
- かんたんデータレスキュー
  ハードディスク上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバブルメディア、CD ／ DVDなどのディスクに保存します。

VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスク上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。
- VAIO データレスキューツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

レスキュー（バックアップ）するには

！ご注意
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント
以下の手順でも行えます。
① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順5に進む。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[VAIO データレスキューツール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

ヒント
レスキュー方法で、[カスタムデータレスキュー]を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

!ご注意

- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
  中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から5の操作を行い、「中断した作業を再開する」チェックボックスにチェックを付けて、[次へ]をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- "メモリースティック"やSDメモリーカード、フラッシュメモリなどのメディアにデータを保存する場合、ドライバの読み込みが必要になります。ドライバはリカバリディスクの「VAIO」フォルダに保存されています。データの保存先の選択画面で[ドライバのインストール]をクリックし、ドライバの読み込みを行ってください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブはUSBまたはi.LINK接続のものをお使いください。

復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。
VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO データリストアツール]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、[次へ]をクリックする。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

3 レスキューデータの検索先を選択し、[次へ]をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

4 表示された一覧から復元するデータを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
[内容の確認]をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダやファイルの一覧を確認することができます。

5 復元先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

6 復元方法を選択して[次へ]をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。
- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

7 [開始]をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

8 続けて別のレスキューデータの復元をするには[最初の画面に戻る]を、復元を終了するには[終了]をクリックする。

!ご注意
「SonicStage」ソフトウェアで取り込んだ音楽ファイルや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど、著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保障はいたしません。

ヒント
復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダから移動してお使いください。

Windows メールをバックアップする／復元するには

ここではVAIO データレスキューツールの使用例として、Windows メールのメールデータのバックアップと復元方法を紹介します。

Windows メールのメールデータをバックアップする

1 VAIO データレスキューツールを起動させる。(55ページ)

2 画面の指示に従って、「レスキューデータの選択」画面まで進む。

ヒント
データレスキュー方法は、「カスタムデータレスキュー」を選んでください。

3 [Users]－[VAIO(ユーザー名)]－[AppData]－[Local]－[Microsoft]－[Windows Mail]をクリックし、[Local Folders]チェックボックスをクリックしてチェックする。

4 [次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従ってバックアップしてください。

Windows メールのバックアップを復元する

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows メール]をクリックする。

Windows メールが起動します。
メールアカウントの設定をしていない場合は、設定してください。

2 [ファイル]－[インポート]－[メッセージ]をクリックする。

「プログラムの選択」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールの形式を選択してください」から、[Microsoft Windows メール 7]を選択し、[次へ]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

4 [参照]をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[OK]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

ヒント
VAIO データレスキューツールでメールデータをバックアップしていた場合は、[参照]をクリックして[Local Folders]を選択してください。

5 [すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

6 [完了]をクリックする。

「Windows メール」画面の左側に「インポートされたフォルダ」が作成されるので、フォルダ内のメールを元の状態に振り分けてください。

パーティションサイズの変更

パーティションサイズの変更について

パーティションとはハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。別のパーティション(D:ドライブなど)にデータを保存したい場合は、パーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。

パーティションを作成する

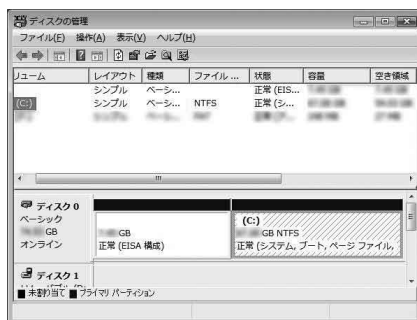
パーティションの作成方法には、以下の2種類があります。

- Windows上の操作で作成する
- リカバリディスクを使って作成する

！ご注意
リカバリディスクを使ってパーティションの作成を行うには、本機をリカバリする必要があります。
リカバリすると、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

❑ Windows上の操作で作成する

1 (スタート)ボタン－[コントロール パネル]－[システムとメンテナンス]－「管理ツール」の[ハードディスク パーティションの作成とフォーマット]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ディスクの管理」画面が表示されます。

2 C:ドライブを右クリックして、[ボリュームの圧縮]をクリックする。

「C: の圧縮:」画面が表示されます。

3 圧縮する領域のサイズを設定して、[圧縮]をクリックする。

「ディスクの管理」画面で、「ディスク」に「未割り当て」が追加されます。

ヒント
本機をある程度の期間ご使用の場合は、ハードディスク上のデータが分散しているため「未割り当て」の空き領域が小さくなります。その際は、デフラグすることをおすすめします。（(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システム ツール]－[ディスク デフラグ ツール]をクリックする。）

4 「未割り当て」を右クリックし、[新しいシンプル ボリューム]をクリックする。

「新しいシンプル ボリューム ウィザード」画面が表示されます。

5 画面に従ってサイズやドライブ名の設定を行い、ウィザードを完了させる。

ウィザードを完了させるとフォーマットが始まり、新しくパーティションが作成されます。

❑ リカバリディスクを使って作成する

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

6 [スキップ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

表示された画面の指示に従い、パーティションの分割設定画面が表示されるまで進んでください。

ヒント
「お買い上げ時のパーティション設定にしますか？」と聞かれた場合は、[パーティション設定を変更]を選んでください。

7 ドロップダウンリストから、[数値入力(C ドライブとD ドライブに分割する)]を選択する。

8 C:ドライブのサイズを設定して、[次へ]を選択する。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ハードディスクのデータを完全に消去する

本機ではVAIO データ消去ツールを使ってハードディスクのデータを完全に消去することができます。

!ご注意

- VAIO データ消去ツールはハードディスク上のすべてのデータを消去します。本機を廃棄あるいは第三者に譲渡する場合のみお使いください。
- VAIO データ消去ツールを使うには、リカバリディスクの作成が必要です。
  リカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。(43ページ)
- VAIO データ消去ツールを使用中に71時間が経過すると自動的にコンピュータが再起動します。データの消去中に71時間が経過した場合は、自動的に作業が中断され本機が再起動します。本機が再起動したあとに、再びツールを起動すれば中断されたところから作業が再開できます。
- VAIO データ消去ツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

1 必要なファイルをバックアップする。

ヒント

- Windowsが起動する場合は、ファイルのバックアップを使ってバックアップしてください。(45ページ)
- Windowsが起動しない場合は、リカバリディスクからVAIO データレスキューツールを起動してバックアップを行い(55ページ)、バックアップ完了後に[終了]をクリックして本機が再起動したら、手順3へ進んでください。

2 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

3 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

4 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

5 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

6 画面左側の[VAIO データ消去ツール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

VAIO データ消去ツールの説明画面が表示されます。

7 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

8 制限事項や準備の説明内容をよく読んだら、[次へ]をクリックする。

9 内蔵ハードディスク一覧からデータ消去するハードディスクにチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

10 データの消去方式を選択し、[次へ]をクリックする。

11 データ消去するハードディスクを確認し[はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

12 再度、[はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[消去開始]をクリックする。

ハードディスクのデータの消去が開始されます。

13 消去終了の確認画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

本機の電源が切れます。

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次のいずれかの方法で解決方法をご確認ください。また、メッセージなどが表示されている場合は、お問い合わせ時のために、書き留めておいてください。

1 取扱説明書（本書）で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」（64ページ）をご覧ください。

パソコンが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
パソコンが動作するときは、「バイオ電子マニュアル」からも調べられます。

2 電子マニュアルで調べる

「バイオ電子マニュアル」の［Q&A集］をご覧ください。

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリックしてください。

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェア診断ツールでも、ハードウェアをチェックできます。起動するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO ハードウェア診断ツール］をクリックしてください。

Windowsの使いかたや疑問について

「Windows ヘルプとサポートを見る」（83ページ）をご覧ください。

3 インターネットで調べる

「VAIOカスタマーリンクホームページ」で確認できます。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOカスタマーリンク」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報やサービスを調べられます。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」(84ページ)をご覧ください。

4 電話で問い合わせる

1 ～ 3の方法でも問題が解決しない場合は、下記にお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク
(0466) 30-3000

平日：10時～ 21時、
土、日、祝日：10時～ 17時
詳しくは、「電話で問い合わせる」(96ページ)をご覧ください。

ソフトウェアの使いかたや疑問について

本機に付属のソフトウェアの場合、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(107ページ)をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先に問い合わせてください。
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発およびサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

よくあるトラブルと解決方法

Q&A一覧

この説明書に掲載されているQ&Aは以下になります。

❑ 電源／起動（67ページ）

- 電源が入らない（本機の電源ランプが点灯しないとき）
- 電源を入れると、本機の電源ランプは点灯するが、画面に何も表示されない
- 電源が切れない
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない
- ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった
- スリープモードに移行できない

❑ パスワード（69ページ）

- BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワードを忘れてしまった
- Windowsのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

❑ 画面／ディスプレイ（70ページ）

- 画面に何も表示されない
- 画面の色がきれいに表示されない
- 画面が固まって動かない
- 画面が暗い
- 画像が乱れる
- テレビの画面が乱れて表示される
- テレビに画面が表示されない
- HDMI OUT（エイチディーエムアイ出力）コネクタにテレビまたはディスプレイを接続したときに画像が表示されない

❑ 文字入力／キーボード（71ページ）

- 文字の入力方法がわからない
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない
- キーボードが使えない
- Caps Lock、Num Lkなどのキーが有効になっているかどうか知りたい

❑ タッチパッド（74ページ）

- タッチパッドが使えない
- 画面上のすべてのものが動かない
- 意図せずカーソルが動く

❑ ハードディスク(75ページ)

- 誤ってハードディスクを初期化してしまった
- ハードディスクの内容を誤って消してしまった
- ハードディスクの空き容量を知りたい
- ハードディスクから異音がする
- リカバリ領域の容量を知りたい

❑ CD ／ DVDドライブ(76ページ)

- CD ／ DVD メディアの読み込み・再生ができない、ドライブがメディアを認識しない

❑ テレビ再生／録画(アナログテレビチューナー搭載モデル)(77ページ)

- テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない
- 画面の色がきれいに表示されない
- エラーメッセージが表示され、終了、スリープなどの操作ができない
- 予約したのに録画されていない
- 縞状のノイズが多い

❑ 外部機器からの録画(78ページ)

- アナログ機器(VHSなど)からの映像を録画する方法がわからない(アナログテレビチューナー搭載モデル)
- DV(デジタルビデオ)機器の映像を録画する方法がわからない
- 外部機器から映像の録画を実行しても何も録画されない(アナログテレビチューナー搭載モデル)
- HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう
- HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

❑ FeliCaポート(FeliCa対応リーダー／ライター)(79ページ)

- FeliCa機能が使えない

❑ エラーメッセージ(80ページ)

電源投入時のエラーメッセージ

- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「バイオ電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」画面が表示されます。

2 [Q&A集]をクリックする。

表示されたメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

電源／起動

Q 電源が入らない（本機の電源ランプが点灯しないとき）

次の点を確認したうえで、それぞれの操作をしてください。

A 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
接続について詳しくは、「接続と設定ガイド」をご覧ください。

A すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
接続について詳しくは、「接続と設定ガイド」をご覧ください。

A スイッチ付きテーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入っているかどうか、また、テーブルタップのコードが壁の電源コンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。

A 電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、電源を入れてください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源を入れると、本機の電源ランプは点灯するが、画面に何も表示されない

A テレビの電源が入っているか確認してください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認したあと、電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、再度電源を入れ直す。

Q 電源が切れない

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認したうえで、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアをすべて終了してから、再び電源を切る操作をしてください。

A プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。
Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

A 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認してください。

A （スタート）ボタン－ ボタン－［シャットダウン］をクリックしても電源が切れない場合は、Altキーを押しながらF4キーを数回押して「Windowsのシャットダウン」画面を表示させ、リストから［シャットダウン］を選択して［OK］をクリックしてください。

A 画面が固まったり、動かなくなった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックしてください。
詳しくは、「画面が固まって動かない」（70ページ）をご覧ください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

③ それでも電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにして、電源ランプが消灯するか確認する。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 「Non-System disk or disk error. Replace and strike any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System not found」と表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。
再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください（58ページ）。

A パスワードを3回間違えて入力すると、「System Disabled」と表示されWindowsが起動しません。
本機の電源ボタンを4秒以上押したままにして、電源ランプが消灯するか確認してください。
その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。
パスワードを入力する際は、Num Lock（ナム・ロック）インジケーターや Caps Lock（キャプス・ロック）インジケーターが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してインジケーターを消してから入力してください。

A 「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示される場合、内蔵バックアップバッテリが消耗しています。
次の手順で操作してください。

① 電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。
「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

② 日時を確認する。
「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認してください。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。
1）「System Date」の項目に月／日／年（西暦）を入力する。
例：2007年1月31日と設定するには、1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2007＋Enterキーの順で入力します。
2）↓／ Pg Dnキーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。
例：午後2時35分00秒と設定するには、14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

③ Escキーを押す。

④ ↓／ Pg Dnキーで[Get Default Values]を選択し、Enterキーを押す。

⑤ 「Load default configuration now?」と表示されるので、[Yes]を選択して、Enterキーを押す。

⑥ ［Exit Setup］が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。
⑦ 確認画面が表示されるので、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった

A 次の手順に従ってSafe（セーフ）モードで起動し、ドライバを再インストールしてください。

① 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF8キーを押す。
② 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、↑／Pg Upキーまたは↓／Pg Dnキーを押して［セーフモード］を選択し、Enterキーを押す。
③ Windowsが起動したら、（スタート）ボタン－［コントロールパネル］－［システムとメンテナンス］－［デバイスマネージャ］をクリックする。
④ 「デバイスマネージャ」画面で、インストールやアップデートをしたデバイスを選択し、右クリックすると表示されるリストの［プロパティ］をクリックしてプロパティ画面を表示し、［ドライバ］タブをクリックする。
⑤ ［ドライバを元に戻す］をクリックし、正常に起動していたときのドライバをインストールする。
⑥ 本機を通常の起動方法で再起動する。

Q スリープモードに移行できない

A Windows Media Centerの起動中は、タイマーでのスリープモードへの移行はできません。（アナログテレビチューナー搭載モデル）

録画中や予約録画開始数分前、DVD作成中、時刻修正機能が働いているときは、手動でもスリープモードには移行できません。

パスワード

Q BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワードを忘れてしまった

A パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Q Windowsのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー（Administratorsに属するユーザー）が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない

A 次の点をお確かめください。

- 本機とテレビの電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
- 本機とテレビを正しく接続してください。
- 本機とテレビの電源が入っているか確認してください。

Q 画面の色がきれいに表示されない

A 画面の色数の設定が[最高(32ビット)]になっているか確認してください。
詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた] − [画面／ディスプレイ] − [画面の解像度／色数を変更する]をクリックする。)

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。
(スタート)ボタン− ボタン−[シャットダウン]をクリックして電源を切り、本機の電源ボタンを押して起動し直してください。

Q 画面が固まって動かない

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、[タスクマネージャの起動]をクリックする。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。
「Windowsタスクマネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の (シャットダウン)ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると電源ランプが消灯します。電源ランプがオレンジ色に点灯した場合は、いったん手を離し、再び電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

!ご注意
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面が暗い

A テレビの明るさを調節してください。
テレビの種類によって、明るさ調節の方法が異なります。
詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

Q 画像が乱れる

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、ディスプレイから離してください。

Q テレビの画面が乱れて表示される

A 本機とテレビが正しく接続されているか確認してください。

Q テレビに画面が表示されない

A 本機とテレビが正しく接続されているか確認してください。

Q HDMI OUT(エイチディーエムアイ出力)コネクタにテレビまたはディスプレイを接続したときに画像が表示されない

A HDMIケーブルを接続し直してください。

A 著作権保護された映像は、HDCP規格非対応のテレビやディスプレイでは表示できません。
HDCP規格に対応した外部ディスプレイを接続してください。

文字入力/キーボード

Q 文字の入力方法がわからない

A 「バイオ電子マニュアル」画面左上の[目次]をクリックし、最も下に表示される[できる Windows for VAIO]内の「文字を入力しよう」をご覧ください。

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない

A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

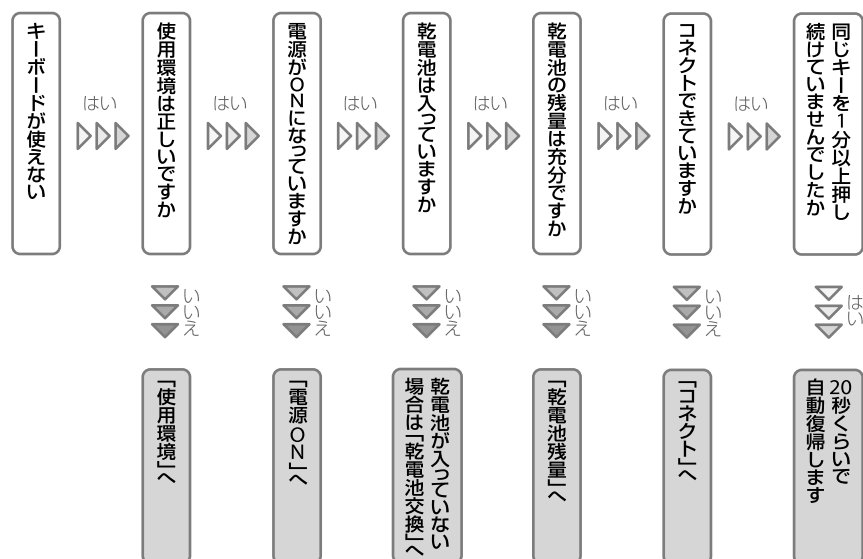
英字入力モードのときは「A」になっています。

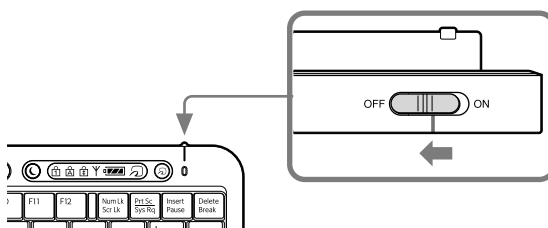
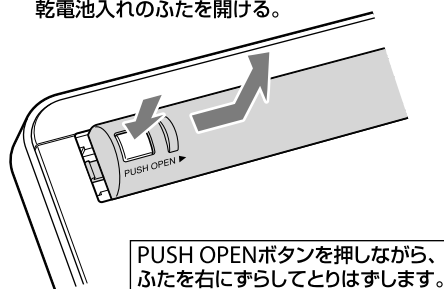
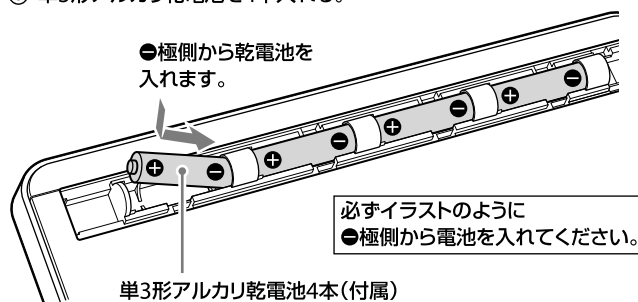
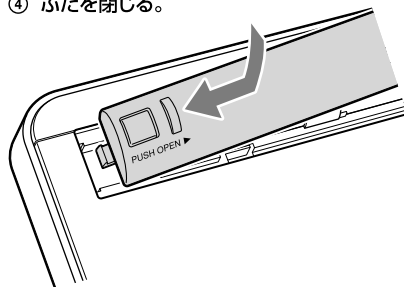
日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角|漢字キーで切り換えられます。

A 「Caps Lock」インジケーターが表示されていないか確認してください。
「Caps Lock」インジケーターが表示されていると、Shiftキーを押していないときでも大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押して、「Caps Lock」インジケーターが表示されていないことを確認してください。

A キーボード右上の「Num Lock」インジケーターが表示されていないか確認してください。
表示されているときは、一部のキーがテンキーとして動作します。

Q キーボードが使えない

A キーボードが使えないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上、それぞれの操作をしてください。

- **使用環境**
  本機とキーボードの距離は約10m以内でご使用ください。キーボードの近くに金属があると、FeliCaカードとの通信に影響を与えることがあります。
  キーボードは2.4GHz帯の電波を使用しています。無線LANなど同じ2.4GHz帯の電波を使用する無線機器を近くでお使いになると、正常に動作しないことがあります。
- **電源ON**
  本機に付属のキーボードは、乾電池の消耗を抑えるために電源スイッチが付いています。
  本機を長時間使用しない場合は、電源をオフにすることをおすすめします。また、ご使用の際には必ずオンになっていることをご確認ください。
- **乾電池交換**
  下記の手順で乾電池を交換してください。

  ① **電源スイッチを「OFF」にする。**

② キーボードを裏返し、
乾電池入れのふたを開ける。

③ 単3形アルカリ乾電池を4本入れる。

④ ふたを閉じる。

！ご注意

- 乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。
- 残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。

- **乾電池残量**

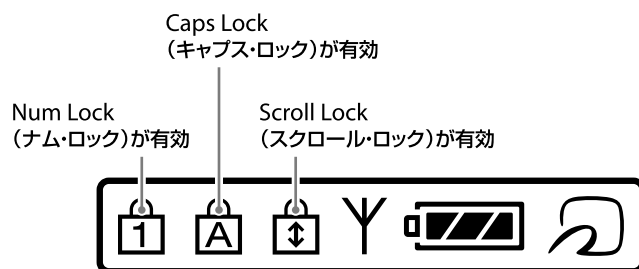
  キーボードの乾電池の残量が充分かどうかは、キーボードの右上にあるバッテリーインジケーターで確認できます。

- **コネクト**

  コネクトインジケーターに Ψ が表示されていれば、コネクトできています。 Ψ が表示されていない場合はコネクトができていないので、キーボードを本体に近づけてみてください。

  それでも Ψ が表示されない場合は、再度コネクトをし直してください。
  （インジケーターが表示されていない場合は、Fnキーを1度押してください）

Q Caps Lock、Num Lkなどのキーが有効になっているかどうか知りたい

A キーボード右上の各種インジケーターで確認できます。

タッチパッド

Q タッチパッドが使えない

A 本機とキーボードの距離を確認してください。
本機とキーボードの距離は最長10m離して使うことができます。
キーボードに乾電池が入っているか確認してください。

A キーボードの乾電池の容量が充分かどうか確認してください。
キーボードの乾電池の容量が充分かどうかは、キーボード右上にあるバッテリーインジケーターで確認することができます。
乾電池の容量が充分でない場合は、乾電池交換の手順に従って交換してください。

A キーボードの電源スイッチが「ON」になっているか確認してください。

A 本機とキーボードがコネクトできているか確認してください。
コネクトインジケーターを確認してください。 Ｙ が表示されていれば、コネクトできています。
Ｙ が表示されていない場合はコネクトができていないので、キーボードを本体に近づけてみてください。それでも Ｙ が表示されない場合は、再度コネクトをし直してください。
（インジケーターが表示されていない場合は、Fnキーを1度押してください）

Q 意図せずカーソルが動く

A 指がタッチパッドの端まで来たときに、その指を離さなければポインタやスクロールが動き続けます。指をいったんタッチパッドから離し、タッチパッドの中央で使用してください。

Q 画面上のすべてのものが動かない

A 次の手順で本機を再起動してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、[タスクマネージャの起動] をクリックする。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。
「Windowsタスクマネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了] をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の（シャットダウン）ボタンをクリックして［再起動］を選択する。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。
ハードディスク内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります（52ページ）。

Q ハードディスクの内容を誤って消してしまった

A 削除したファイルが、「ごみ箱」の中に残っていないか確かめてください。
「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。

A Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリする必要があります（52ページ）。

Q ハードディスクの空き容量を知りたい

A （スタート）ボタン－［コンピュータ］をクリックしてください。
「コンピュータ」画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q ハードディスクから異音がする

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。
これは正常な処理であり、故障ではありません。
ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。
ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［システムツール］－［ディスクデフラグツール］をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。
「ディスクデフラグツール」画面が表示されます。

② ［今すぐ最適化］をクリックする。
最適化（デフラグ）が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。
これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q リカバリ領域の容量を知りたい

A 次の手順で確認してください。

① （スタート）ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして[管理]をクリックする。

「コンピュータの管理」画面が表示されます。

② [記憶域]の[ディスクの管理]をクリックする。

ディスク 0にリカバリ領域とC ドライブのサイズが表示されます。

ヒント
表示される数値は、1GBを10億バイトで計算した場合のものです。Windowsのシステムでは1GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。

CD ／ DVDドライブ

Q CD ／ DVDメディアの読み込み・再生ができない、ドライブがメディアを認識しない

A ご使用のディスクがバイオで使用可能なディスクか確認してください。

使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」（131ページ）をご覧ください。

A ディスクの挿入方法が正しいか確認してください。

ディスクの裏表を、逆にセットしていないか、またはレーベル面が見える向きでドライブにセットしたか確認してください。

ディスクの挿入方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] – [CD ／ DVD] – [ディスクを入れる／取り出す]をクリックする。）

A ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

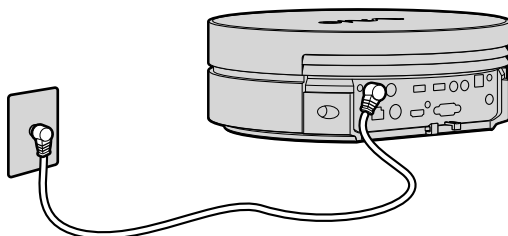
A バイオでの動作を保証しているドライブかどうか確認してください。

バイオでの動作を保証しているドライブは、以下になります。

- お買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのVAIO専用ドライブ

テレビ再生／録画（アナログテレビチューナー搭載モデル）

Q テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない

A アンテナ接続ケーブルが本機のVHF ／ UHF（アンテナ）コネクタと正しく接続されているか確認してください。

A ご使用のアンテナの受信状況が良好か確認してください。
一般のテレビに接続して受信できるか、分配器を使用している場合は、分岐前のケーブルを接続して受信できるかどうかを確認してください。
アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをご使用ください。

A Windows Media Centerをはじめて使うときに行う設定で、チャンネル一覧が正しく取得できなかった可能性があります。
次の手順に従って設定を変更してください。

一部のチャンネルが映らない場合

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Windows Media Center］をクリックする。
「Windows Media Center」ソフトウェアが起動します。
② ［タスク］－［設定］－［テレビ］－［番組ガイド］－［チャンネルの編集］をクリックする。
③ ［番号の編集］を選択し、ご使用の地域と異なるチャンネル番号部分に受信できるチャンネルを入力する。
④ ［保存］をクリックする。

これでチャンネル番号の変更は完了です。

すべてのチャンネルが映らない場合

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Windows Media Center］をクリックする。
「Windows Media Center」ソフトウェアが起動します。
② ［タスク］－［設定］－［全般］－［Windows Media Center セットアップ］をクリックする。
③ ［テレビ信号の設定］を選択する。

もう1度、テレビ信号の設定をやり直してください。

Q 画面の色がきれいに表示されない

A Windows Media Centerでテレビを見たりDVDを再生するときは、ディスプレイの色数を最高（32ビット）に設定してください。その他の設定では画像が正しく表示されない場合があります。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［画面／ディスプレイ］－［画面の解像度／色数を変更する］をクリックする。）

Q エラーメッセージが表示され、終了、スリープなどの操作ができない

A 録画中や予約録画開始数分前またはDVD作成中は、終了、スリープはできません。また、手動録画中やDVD作成中はログオフもできません。
録画終了後に再び操作してください。

Q 予約したのに録画されていない

A アンテナ接続ケーブルが本機のVHF ／ UHF（アンテナ）コネクタと正しく接続されているか確認してください。

A 本機の電源を切った状態では予約録画は実行されません。
スリープモードにして待機させてください。

Q 縞状のノイズが多い

A アンテナ接続ケーブルは、他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

A 分配していないか確認してください。
分配している場合は、別売りのアンテナブースターをお使いください。

外部機器からの録画

Q アナログ機器（VHSなど）からの映像を録画する方法がわからない（アナログテレビチューナー搭載モデル）

A 「VAIO Content Importer」ソフトウェアで録画できます。
「VAIO Content Importer」ソフトウェアでの録画方法について詳しくは、「VAIO Content Importer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Q DV（デジタルビデオ）機器の映像を録画する方法がわからない

A 「VAIO Content Importer」ソフトウェアで録画できます。

A 「Click to DVD」ソフトウェアを使って、DV機器の映像から直接DVDを作成することもできます。
「Click to DVD」ソフトウェアでのDVDの作成方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[ソフトウェアの使いかた] − [Click to DVD] − [ビデオモードでDVDおまかせ作成]をクリックする。）

Q 外部機器から映像の録画を実行しても何も録画されない（アナログテレビチューナー搭載モデル）

A 本機に接続した機器が動作していない場合があります。
ビデオカメラレコーダーやビデオデッキから録画するときは、機器の電源が入っているか、機器と本機が正しく接続されているか確認してください。

A ゲーム機器などの映像は、表示や録画ができない場合があります。
本機と接続したビデオ機器から映像を入力している場合、一時停止したときの画像、映像が入力されていないときの画面（青い画面など）、本機に接続したビデオ機器が表示するメニュー画面などは表示や録画ができないことがあります。

Q HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう

A シーンの途中に録画の開始点、終了点がないことを確認してください。

A HDV機器のヘッドが汚れています。
クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピュータの設定を確認してください。
お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Q HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

A HDV機器のヘッドが汚れています。
クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピュータの設定を確認してください。
お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー／ライター）

Q FeliCa機能が使えない

A FeliCaカード／携帯電話の位置を確認してください。
キーボードの （FeliCaプラットフォームマーク）に合わせて置いてください。

！ご注意
携帯電話の形状によっては、FeliCa通信できないことがあります。

A FeliCaカードを置いたあとに、FeliCaボタンを押してください。
FeliCaボタンを押すと、FeliCa機能を利用することができます。

A キーボードが使用できる状況になっているかを確認してください（72ページ）。

A キーボード周辺の環境を確認してください。
金属製の机などキーボードの近くに金属があると、FeliCaカードとの通信に影響を与えることがあります。

A キーボードのバッテリーインジケーターを確認してください。

！ご注意
乾電池の残量が少ないときにFeliCaを使用すると が点滅します。 が点滅したときは、FeliCaの動作が不安定になることがありますので、乾電池を交換してください。

A キーボード側のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）の準備が完了しているか確認してください。
インジケーターにFeliCaマークがあるか確認してください。なければFeliCaボタンを押してください。

A FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)などに不具合がある可能性があります。
「FeliCaポート自己診断」ツールを使用して不具合があるかどうか確認します。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[FeliCaポート自己診断]をクリックする。
FeliCaカードを置いて、FeliCaボタンを押してください。
② 画面に表示された内容を確認し、[次へ]をクリックする。
診断が開始され、結果が表示されます。

FeliCaポートに不具合があった場合は、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。
また、お手持ちのFeliCaカードに不具合があった場合は、FeliCaカード発行者にお問い合わせください。

エラーメッセージ

電源投入時のエラーメッセージ

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 68ページをご覧ください。

バイオ内の情報を調べる

本機には、本機の使いかたを手軽に検索できる「バイオ電子マニュアル」が付属しています。「バイオ電子マニュアル」を使って、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。困ったときはまず「バイオ電子マニュアル」を起動してみましょう。
「Windows ヘルプとサポート」では、Windowsのヘルプの検索、サポートツールの実行、最新情報の入手など、おもにWindowsのサポートに関する機能をご利用になれます。
また、Windowsのヘルプ、ソフトウェアに付属しているヘルプを使って解決方法を閲覧することもできます。

さらに、「困ったときはどうすればいいの？」（62ページ）や関連する項目をご覧ください。

「バイオ電子マニュアル」を見る

「バイオ電子マニュアル」はバイオの使いかた、楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明するソフトウェアです。
「バイオ電子マニュアル」を起動するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］の順にクリックします。

画面の見かた

① 「バイオ電子マニュアル」の最初の画面に戻ったり、画面を進めたり、戻したり、印刷や文字の大きさを変えることができます。
また、コンピュータ用語の説明を見ることができます。

② 「バイオ電子マニュアル」の目次や索引、キーワード検索を選んで表示させることができます。

③ ご覧になりたい内容に応じてボタンをクリックすると、それぞれの説明が表示されます。

④ 単語や質問文を入力して情報を検索することができます。

「バイオ電子マニュアル」で検索する

検索機能を使用すると、バイオの使いかたについてわからないことや知りたいことを調べることができます。
調べたい内容を入力することで、コンピュータ内にある「バイオ電子マニュアル」やソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネットに接続している場合はVAIOカスタマーリンクのホームページから最適な解説がすばやく検索できます。

1 検索したい内容をキーワード（単語）や質問文で入力する。

「バイオ電子マニュアル」内の情報を検索する場合は、質問文を入力するとより適切な検索結果が得られます。
また、入力欄に複数のキーワード（単語）をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。
例：「CD 再生」

2 ［検索］をクリックする。

画面左側に検索結果が質問の内容に近い（類似度が高い）ものから順に表示されます。

［次の20件］をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
［前の20件］をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

画面右側に選んだ文書の内容が表示されます。

VAIOカスタマーリンク ホームページの文書は別画面で表示されます。

Windows ヘルプとサポートを見る

(スタート)ボタン－[ヘルプとサポート]をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と検索や各種サポートツールの実行を行うことができます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[本機に付属されているソフトウェア]の表にあるソフトウェア名をクリックして表示される画面には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント

ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する

VAIOカスタマーリンクホームページでできること

本機をインターネットに接続し、VAIOカスタマーリンク ホームページをご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページでは、バイオに関するトラブル解決やさらに活用するための各種情報、バイオを安心してご使用いただくための最新情報などをご提供していますので、定期的にご覧ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

!ご注意
本マニュアル内の「サービス・サポート」の内容は、2007年6月現在のものです。
サービス・サポートの内容は随時更新されますので、最新の内容はVAIOカスタマーリンク ホームページでご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには

VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには、次の2通りの方法があります。

❑ 「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを使用する

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]をクリックする。

2 画面上部の(お気に入り)をクリックして、[2.VAIOサポートページ]－[1サポート(サービス・サポート情報)]をクリックする。

VAIOカスタマーリンク ホームページが表示されます。

❑ 「VAIOナビ」ソフトウェアを使用する

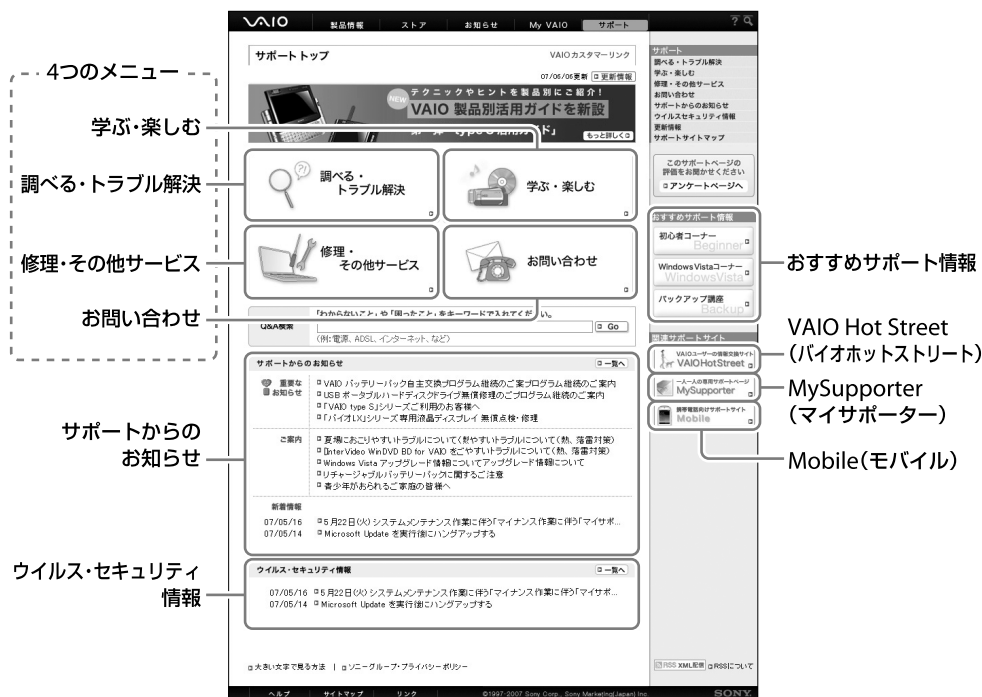
1 デスクトップ画面の(VAIOナビ)をダブルクリックして、[VAIOナビ]ソフトウェアを起動する。

2 画面左側の[トラブル解決]をクリックして表示された画面で[VAIO サポートページを見る]ボタンをクリックする。

VAIOカスタマーリンク ホームページが表示されます。

VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

目的別に絞りこんだ4つのメニューを中心に、シンプルで探しやすいトップページをご用意しています。

4つのメインメニュー

❑ 調べる・トラブル解決

バイオに関する疑問やトラブルを解決したい方はこちらをご利用ください。
問題を解決するための各種情報をわかりやすくご提供しています。

- 製品別サポート情報
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rd/vaiomanual/pc.html
  お客様のバイオ専用のサポート情報ページをご用意しています。
  ご所有の製品に関連する「お知らせ」、「アップデートプログラム」、「他社製品接続情報」などの最新サポート情報をご提供しております。
  ご所有製品のページを「お気に入り」などに追加することをおすすめします。
  詳しくは、「製品別サポート情報」(87ページ)をご覧ください。
- Q&A検索
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/qa/
  キーワードや文章などを入力してQ&A(VAIOカスタマーリンクに寄せられた質問とその回答)を検索することができます。
  また、カテゴリー別やエラーメッセージ別などに分類された「よくある質問」から、Q&Aを検索する方法もご用意しています。
- 製品接続情報
  各周辺機器メーカー様からご提供いただいた接続情報、バイオをお使いの皆様からVAIO Hot Streetに投稿していただいた接続情報など、バイオにつながる製品の接続情報をご提供しています。

❑ 学ぶ・楽しむ

バイオをより活用したい、楽しみたい、という方はこちらをご利用ください。
やりたいこと別、ソフトウェア別、初心者の方向け、機種別などさまざまな切り口で、バイオを楽しむための活用方法をわかりやすくご紹介しています。
また、セミナーや個人レッスンもご紹介しています。

❑ 修理・その他サービス

- 修理関連のご案内
  故障かな？と思ったときの確認方法や修理依頼の手順、概算修理料金、修理進捗情報の確認など、修理関連の情報をご提供しています。
- その他サービス
  バイオの設置・設定、インターネットセキュリティ、ソニー純正メモリーやハードディスクなどでのバイオアップグレード、延長保証、リカバリディスク送付など、各種有料サービスをご案内しています。
  サービス内容について詳しくは、「各種有料サービスのご案内」（104ページ）をご覧ください。

❑ お問い合わせ

お電話やメールでのお問い合わせ方法、付属ソフトウェアのお問い合わせ先などをご紹介しています。
ホームページから電話サポートの予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンクからお客様にお電話を差し上げる「VAIOコールバック予約サービス」（90ページ）、オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどをご案内する「VAIOリモートサービス」（92ページ）も、こちらからご利用いただけます。

その他

❑ サポートからのお知らせ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/iforu/
VAIOカスタマーリンクからお客様への重要なお知らせや最新のお知らせを掲載しています。

❑ ウイルス・セキュリティ情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
バイオをご使用になる際のセキュリティ関連の最新情報を掲載しています。
インターネットの普及に伴い、ソフトウェアの脆弱性を狙った悪意のある第三者の攻撃やウイルスによる被害が増えてきています。
バイオを安全にお使いになるために、常にセキュリティ関連の情報をチェックし、必要な対策をとられることを強くおすすめします。

❑ おすすめサポート情報

VAIOカスタマーリンクが特におすすめするサポートメニューやコンテンツをご紹介しています。

！ご注意
おすすめサポートの内容は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

- 初心者コーナー
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/beginner/
  初心者の方が知りたい情報をわかりやすくご紹介しています。
  詳しくは、「ネットワークコーナー」（88ページ）をご覧ください。
- Windows Vistaコーナー
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/vista/
  Windows Vistaの基本操作や設定方法、便利な活用方法などをわかりやすくご紹介しています。
  詳しくは、「Windows Vistaコーナー」（88ページ）をご覧ください。
- バックアップ講座
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/howto/backup/
  バイオに保存されたデータのバックアップ方法と、その復元方法について解説しています。
  大切なデータの保護にお役立てください。

❑ VAIO Hot Street（バイオホットストリート）

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/
バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
お客様同士でバイオに関する投稿や質問、回答をやりとりしていただけます。
詳しくは、「VAIOユーザーの情報交換サイト」（94ページ）をご覧ください。

❑ MySupporter（マイサポーター）

https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/
お客様ひとりひとりに合わせて、ご所有機種に対応したサポート情報を自動表示したり、VAIOカスタマーリンクへのコンタクト履歴をご確認いただけるサイトです。

❑ Mobile（モバイル）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
携帯電話向けのサポートサイトです。
ウイルス・セキュリティ情報などの最新サポート情報や修理見積、修理進捗状況など修理関連情報をご提供しています。
詳しくは、「携帯電話向けVAIOサポートサイト」（95ページ）をご覧ください。

代表的なサポートメニュー

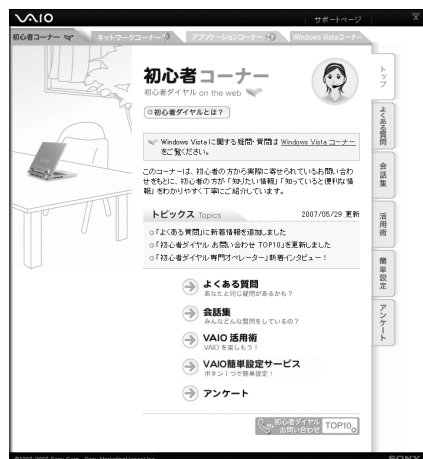
VAIOカスタマーリンクの代表的なサポートメニューを紹介します。

製品別サポート情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rd/vaiomanual/pc.html
製品別サポート情報ページでは、ご所有の製品に関連した「お知らせ」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」などの最新情報をご紹介しています。

VAIOカスタマーリンクホームページの「調べる・トラブル解決」からアクセスします。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する」（85ページ）をご覧ください。

初心者コーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/beginner/
初心者の方から実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者の方が「知りたい情報」、「知っていると便利な情報」をわかりやすく丁寧にご紹介しています。

VAIOカスタマーリンクホームページのトップページからアクセスします。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する」(85ページ)をご覧ください。

その他のコーナー

初心者コーナーの他に3つのコーナーをご用意しています。

ヒント
それぞれのタブをクリックすると各コーナーがご覧いただけます。

ネットワークコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/network/
ネットワーク専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに「接続に困ったら」、「ネットワーク構築にチャレンジ」などのネットワーク接続に関するさまざまな情報をわかりやすくご紹介しています。

アプリケーションコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/appl/
アプリケーション専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに、ソニー製ソフトウェアに関する「よくあるお問い合わせ」のご紹介やソニー製ソフトウェアでできることをわかりやすい活用術としてご紹介しています。

Windows Vistaコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/vista/
Windows Vistaの基本操作や設定方法、便利な活用方法などをQ&Aや活用集、動画などでわかりやすくご紹介しています。

VAIO
サポートページ
初心者コーナー
ネットワークコーナー
アプリケーションコーナー
Windows Vistaコーナー
ネットワーク コーナー
専門オペレーターがガイドする
「ネットワーク」のある生活
Windows Vista に関する疑問・質問は Windows Vista コーナーをご覧ください。
このコーナーでは、ネットワーク専門オペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに、ネットワークに関するさまざまな情報をわかりやすくご紹介します。
Topics
2006年11月07日更新
「よくある質問」を更新しました
基礎知識
これからはじめてみよう！
やってみよう！
ネットワーク構築にチャレンジ！
よくある質問
あなたと同じ疑問があるかも？
接続に困ったら
まず自分の接続状況を確認しよう！
アンケート
トップ
基礎知識
やってみよう！
よくある質問
接続に困ったら
アンケート
©1997-2007 Sony Corp., Sony Marketing(Japan) Inc.
SONY

VAIO
サポートページ
初心者コーナー
ネットワークコーナー
アプリケーションコーナー
Windows Vistaコーナー
アプリケーション コーナー
VAIOをさらに楽しむために！
Windows Vista に関する疑問・質問は Windows Vista コーナーをご覧ください。
アプリケーション専門オペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに、主なソニー製ソフトウェアの活用方法をわかりやすくご紹介します。
Topics
2007年5月23日更新
「よくある質問」を更新しました
「活用術」に「最高の音質で音楽を楽しもう！」を追加しました
よくある質問
あなたと同じ疑問があるかも？
活用術
VAIO を楽しもう！
他社製品
他社製ソフトウェアについて
アンケート
トップ
よくある質問
活用術
他社製品
アンケート
©1997-2007 Sony Corp., Sony Marketing(Japan) Inc.
SONY

VAIO
サポートページ
初心者コーナー
ネットワークコーナー
アプリケーションコーナー
Windows Vistaコーナー
特設！
Windows Vistaコーナー
Windows XP につづく新しい OS「Windows Vista」が遂に登場しました！
このコーナーでは、「ここが知りたい！Windows Vista！」をキーワードに Windows Vista でできること、Windows Vista の基本操作や設定など、知りたいことをわかりやすくご紹介しています。
また、旧 OS から Windows Vista へのアップグレードに関する情報も併せてご提供。
Topics
Windows の機能を利用してワイヤレス LAN に接続する方法
Windows Media Center で録画されたコンテンツのバックアップ方法について
ここが知りたい！
Windows Vista
Windows Vista 活用ヒント集
新機能を Windows XP との比較を交えてご紹介！
Windows Vista で「できること」がわかります！
Windows Vista に関するよくある質問
Windows Vista の OS 基本操作や設定、アプリケーションの使い方や設定などの Q&A をカテゴリ別にご紹介
Windows Vistaへのアップグレード情報
アップグレードに関するよくある質問
～Windows XP から Windows Vista へ～
Windows Vista へのアップグレード時に、お客様からお問い合わせの多い質問を Q&A 形式でわかりやすくご紹介！
Windows Vista アップグレード情報
（製品別のアップグレード情報はこちらから）
アップグレード方法・注意事項・制限事項等を製品別に掲載しています。アップグレードする際はかならずご確認ください。
「Windows Vista アップグレードキャンペーン」実施中
キャンペーン申込み期間：2007年1月10日～2007年3月31日
詳しくはこちら
VAIO ユーザーに聞いてみよう！
アップグレードに関する情報の投稿・疑問・質問を VAIO ユーザーに聞いてみましょう！
有償サポート・サービスのご紹介
Windows XPからWindows Vistaへアップグレードするためのセミナー、訪問サポートをご紹介！
©1997-2007 Sony Corp., Sony Marketing(Japan) Inc.
SONY

VAIOコールバック予約サービス

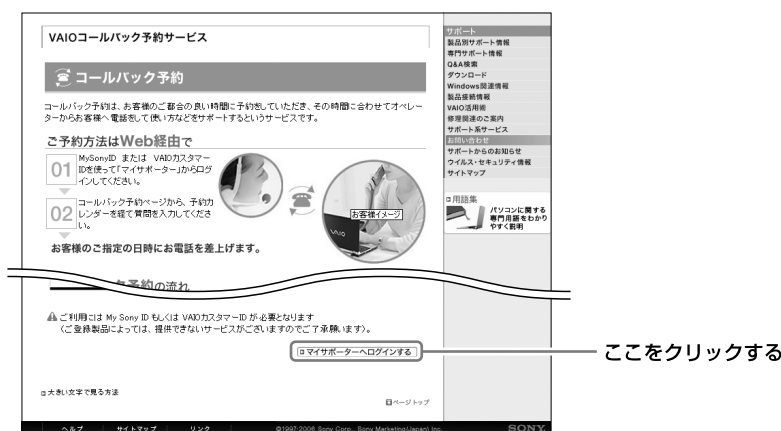
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンク（コールセンター）からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

ヒント
VAIOコールバック予約サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です（コールバック予約サービスのご利用には、お客様がVAIOカスタマー登録を行なわれていることが必要です）。

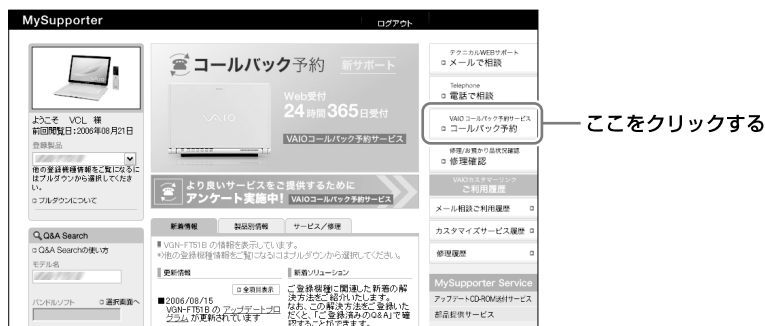
予約受付時間：
24時間いつでもご予約可能（システムメンテナンス時を除く）
回答時間：
平日 10：00 ～ 21：00
土曜、日曜、祝日 10：00 ～ 17：00

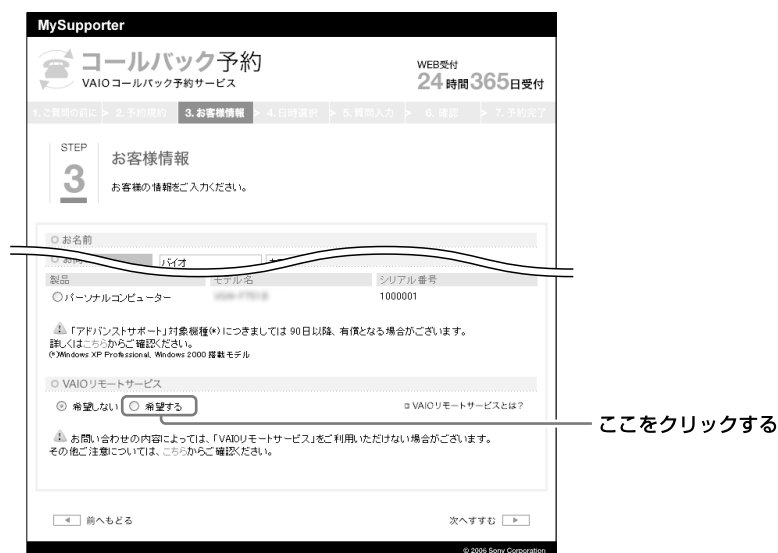
本サービスは、バイオ本体、バイオ関連製品の使いかたに関するお問い合わせに限らせていただきます。

!ご注意
VAIOコールバック予約サービスの内容は予告なしに変更する場合があります。

1 VAIOカスタマーリンクホームページの「お問い合わせ」にアクセスし、「電話でのお問い合わせ」の中にある[VAIOコールバック予約サービス]をクリックする。

2 「ログイン」ボタンをクリックし、IDとパスワードを入力する。

IDは、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDがご利用いただけます。

3 「コールバック予約」ボタンをクリックする。

4 画面に従って操作する。

ヒント
「VAIOリモートサービス」をご利用になる場合は、STEP3「お客様情報」ページにてご指定ください。

VAIOリモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどをご案内させていただくサービスです。

難しいパソコン用語は不要ですので、これまでに「電話の説明だけではわかりにくい」、「直接画面を見て教えてほしい」と思われた方は、ぜひ一度お試しください。

!ご注意

- 本サービスをご利用いただくためには、VAIOカスタマー登録およびインターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、事前にマイサポーターの「VAIOコールバック予約サービス」（90ページ）からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

---

1 「VAIOコールバック予約サービス」で、ご利用になりたい時間を予約する。

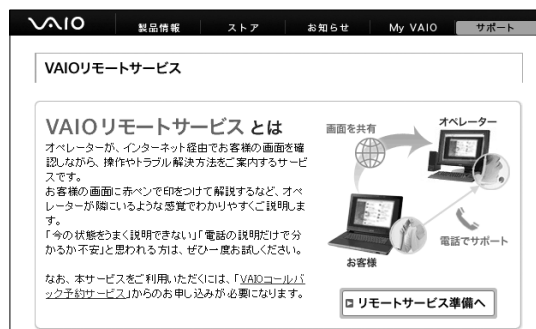
詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」（90ページ）をご覧ください。

---

2 指定されたお時間にオペレーターからお客様にお電話をさせていただきます。

---

3 VAIOカスタマーリンクホームページの「お問い合わせ」にアクセスし、「電話でのお問い合わせ」の中にある［VAIOリモートサービス］をクリックする。

---

4 ページ内のソフトウェア使用許諾契約書に同意したうえで、専用ソフトウェアをダウンロードする。

5 オペレーターが案内する番号の接続ボタンをクリックする。

6 オペレーターが案内するパスワードを入力し、[OK]をクリックする。

VAIO Remote Service

パスワードの確認

「VAIOリモートサービス」を利用するためには、パスワードの入力が必要です。
オペレータから案内された4桁の数字を入力して下さい。

パスワード xxxx （半角数字4桁）

OK キャンセル

7 オペレーターがお客様のバイオに接続し、対応を開始します。

VAIOユーザーの情報交換サイト

VAIO Hot Street（バイオホットストリート）

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

VAIO Hot Streetは、バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。

バイオを活用するための「投稿」、「質問」、「回答」などをお客様どうしでやりとりしていただけます。

!ご注意

投稿、質問、回答、コメントの書き込み、マイプロフィールの登録などを行うには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。

VAIO Hot Street では次の4テーマを展開中です。

- 周辺機器接続情報
- アプリケーションソフト情報
- Windows アップグレード情報
- VAIO 活用情報

携帯電話向けVAIOサポートサイト

VAIOカスタマーリンク モバイル

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、携帯電話向けのVAIOサポートサイトです。

<主なコンテンツ>

❑ お知らせ

サポートの最新情報やウイルスの情報および対策手順を掲載しています。
マイクロソフト社が提供するセキュリティ最新情報もご確認いただけます。

❑ Q&A

最近多く寄せられたお問い合わせや新しく作成・更新されたQ&Aなどの一覧を掲載しています。
またQ&Aや用語集の検索もご利用いただけます。

❑ サポート系コンテンツ

- 修理お預かり情報
  VAIOカスタマーリンクへ直接ご依頼いただいた修理に関して、下記のサービスをご提供しています。
  - 修理進捗状況（7段階）の確認
    （受付待ち、故障診断／修理中、見積案内中、修理中、出荷準備中、出荷済み、修理中止）
  - 見積発行時および修理完了時に携帯メールへお知らせ
  - 修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付
  - 返送先の変更

  ！ご注意
  見積案内および修理完了案内メールを受信するには、事前に「VAIOカスタマーリンク モバイル」にて、携帯メールアドレスのご登録が必要です。
- VAIO Hot Street モバイル
  バイオをお持ちのお客様による情報交換サイト「VAIO Hot Street」に寄せられた投稿や質問を掲載しています。

<アクセス方法>

❑ URLからアクセス

下記のURLに携帯電話からアクセスすることでご利用いただけます。
（対応端末：i-mode・EZweb・Yahoo!ケータイ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

❑ QRコードからアクセス

バーコード（QRコード）の読み取りに対応した携帯電話をお使いの場合は、下記のQRコードを読み取ることで、手軽にアクセスできます。

電話で問い合わせる

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

お問い合わせ先

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせは

カスタマー専用デスク

電話番号：（0466）38-1410

（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）

受付時間：月曜～金曜日　10時 ～ 18時

（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

http://www.vaio.sony.co.jp/regist

!ご注意

- 通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- バイオの使いかたについてのお問い合わせや修理の受付については、「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問や修理の受付を電話で承っております。

電話でのサポートをご利用の前に

❑ お電話の前にお試しください

「バイオ内の情報を調べる」（81ページ）や「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（84ページ）では、操作方法の調べかたやトラブル解決方法、最新情報の入手方法などをご紹介しております。お電話でのお問い合わせの前に、ぜひお試しください。

❑ 「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIOカスタマーリンクにおける電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。
VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）の「お問い合わせ」にアクセスし、「電話でのお問い合わせ」の中にある［VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況］をクリックします。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

ヒント

比較的つながりやすい時間帯は下記となります。
平日：12：00 ～ 18：00
土曜、日曜、祝日：15：00 ～ 17：00
（2007年6月現在）

❑ お電話の前に以下の内容をご用意ください。

① 本機の型名（保証書または各部の説明のIDラベルに記載されています）

② 本機の製造番号（保証書などに記載されている7桁の番号です）

③ カスタマー登録いただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号
（発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。）

④ 本機に接続している**周辺機器名**（メーカー名と型名）

⑤ 表示された**エラーメッセージ**

⑥ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン

⑦ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**

⑧ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか

⑨ その他お気づきの点

❑ お電話でのお問い合わせについて

お電話は音声ガイドでご案内しています。お問い合わせの内容に応じたご希望の番号をお選びください。担当オペレーターが対応いたします。
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/regist）をご覧ください。

お問い合わせ先

使いかたのお問い合わせは

VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

受付時間　平日：10：00 ～ 21：00

土曜、日曜、祝日：10：00 ～ 17：00

（365日年中無休）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/technical.html

!ご注意

年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

「インターネットやメール、ネットワーク接続に関するお問い合わせ」や「ソニー製ソフトウェアのお問い合わせ」など、専門のオペレーターをご用意しております。

!ご注意

- 通話料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- 自動音声応答により、担当のオペレーターにおつなぎいたします。
  自動音声に応答できない場合は、そのままお待ちいただきますとオペレーターにつながります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

- **VAIOコールバック予約サービス**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
  ホームページからお客様のご都合の良い時間を予約していただき、予約時間に合わせてオペレーターがお電話を差し上げるサービスです。
  詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」(90ページ)をご覧ください。
- **VAIOリモートサービス**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブル内容の確認や使いかたなどのご案内をするサービスです。
  詳しくは、「VAIOリモートサービス」(92ページ)をご覧ください。

付属ソフトウェアに関するお問い合わせ

付属のソフトウェアについてはソフトウェアごとにお問い合わせ先が異なります。
「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[本機に付属されているソフトウェア]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(107ページ)をご覧ください。

セキュリティに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口は
電話番号：(0466) 30-3016
受付時間：平日　10：00 ～ 21：00
土曜、日曜、祝日　10：00 ～ 17：00

メールで問い合わせる

テクニカルWebサポート

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/techweb.html
バイオに関する技術的な質問をマイサポーター内の所定フォームから入力すると、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです（質問の内容によっては電話での回答になる場合もございます）。

ヒント
このサービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
カスタマー登録について詳しくは、「接続と設定ガイド」の「カスタマー登録する」をご覧ください。

1 VAIOカスタマーリンクホームページの「お問い合わせ」にアクセスし、「メールでのお問い合わせ」を選び、「マイサポーターへログインする」ボタンをクリックする。

2 マイサポーターの「ログイン」ボタンからログインする。

3 ［メールで相談］を選択し、［新規のお問い合わせ］をクリックする。

ヒント
以前のお問い合わせを継続する場合は、［継続のお問い合わせ］を選択します。

4 画面の指示に従って操作する。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に「バイオ電子マニュアル」で調べたり(81ページ)、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」(84ページ)の操作を行い、お使いのバイオの症状に合うものがないか確認してください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作を行うことで直ることがあります。
それでも解決できない場合は、以下の手順に従ってお電話ください。

ヒント

- **VAIOカスタマーリンクホームページ「修理関連のご案内」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/
  上記のホームページでは、修理に関するさまざまな情報をご案内しています。
- **VAIOカスタマーリンクホームページ「故障かな？と思ったら」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part1.html
  故障のような症状でも、VAIO の設定を変更するだけで改善する場合があります。上記のホームページでは、修理を依頼する前の自己診断や解決方法などについてご案内しています。
- **VAIOカスタマーリンクホームページ「概算修理料金」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/repstd/
  製品別に主な症状と故障箇所別の概算修理料金を確認できます。修理に出される前などにお役立てください。
- **点検サービスも行っております**
  バイオの各機能(キーボード、ハードディスクドライブなど)が正常に動作しているか点検するサービスも行っております(有料)。

修理依頼の手順

VAIOカスタマーリンク修理窓口では、お使いのバイオが故障しているかどうかの診断を行います。
修理が必要と診断された場合は、保証期間内かどうかの確認後、引取り修理の受付をいたします。

ヒント

引取り修理とは、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅より集中修理拠点へ直送するサービスです。
(集配および梱包料は、ソニー負担です。)

！ご注意

- 修理時の代替機は用意しておりません。あらかじめご了承ください。
- 保証期間中でも有料になる場合がございます。詳しくは、保証書に記載されている「無料修理規定」をご覧ください。
- 修理対応について
  ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になりますのでご了承ください。
- 修理料金のお支払い方法について
  修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは付属の「VAIOカルテ」内『修理代金のお支払い方法について』の欄をご覧ください。(なお、このカードによる分割払いは、VAIOカスタマーリンクで修理受付させていただいた場合の適用となります。)
- 修理用補修部品について
  ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品または代替品を使用することがあります。
  また交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。
- 海外でのご使用時の修理対応について
  お買い求めいただいたバイオは、製品に必要な各種の安全規格の認証を日本で取得した日本国内専用モデルです。
  また、製品に付属する保証規定は日本国内のみ有効です。
  海外において国内保証規定以外のご使用が起因となり、製品に不具合が発生した場合は、保証(無料修理)の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。
  なお、VAIO Overseas Service(海外修理サービス)の用意もございます。
  詳しくは「各種有料サービスのご案内」(104ページ)をご覧ください。

1 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください。

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。
紛失された場合は、VAIOカスタマーリンク ホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part2_s1.html)またはFAX情報サービス(105ページ)より入手してください。
筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

SONY

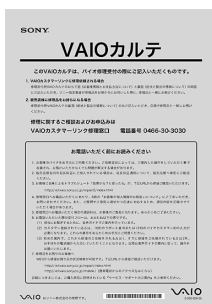
VAIOカルテ

このVAIOカルテは、バイオ修理受付の際にご記入いただくものです。

1. VAIOカスタマーリンクに修理依頼される場合

2. 販売店様に修理品をお持ちになる場合

修理に関するご相談およびお申込みは
VAIOカスタマーリンク修理窓口　電話番号 0466-30-3030

お電話いただく前にお読みください

ヒント
弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証にご加入されている場合は、そちらの保証内容もご確認されることをおすすめいたします。

2 VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。

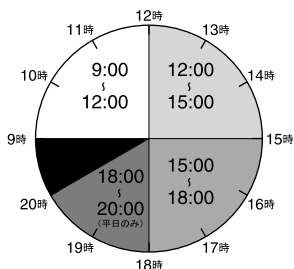
VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号：（0466）30-3030
受付時間：平日：10：00 ～ 21：00
土曜、日曜、祝日：10：00 ～ 17：00
（365日年中無休）

ヒント
- 年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。
- 通常、修理受付の場合、平日は17：00まで、土曜、日曜、祝日では15：00までにお電話をいただければ、翌日にお引取りさせていただきます。
（一部機種・地域を除く。2007年6月現在）

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合がありますので、ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。電話がつながりましたら、自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/regist）をご覧ください。

3 修理が必要と判断させていただいた場合は、引取り修理の受付をさせていただきます。

修理受付の際に修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのVAIOカルテにご記入ください。また、修理品のお引き取り時間を翌日以降で以下の時間帯よりお選びください（一部機種、一部地域を除く）。

- 9：00 ～ 12：00
- 12：00 ～ 15：00
- 15：00 ～ 18：00
- 18：00 ～ 20：00（平日のみ）

！ご注意
上記は2007年6月現在での選択可能な時間帯です。
一部地域ではご利用いただけない時間帯があります。

ヒント
受付時に修理品の引き取り日時、場所などを調整させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

4 データのバックアップをおとりください。

データのコピーが可能な場合は、修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりくださるようお願いいたします。弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
データのバックアップをとるには次のような方法があります。
- “メモリースティック”にコピーする。
- 書き込み可能なCDやDVDなどのディスクにコピーする。
- 外付けの記憶装置（HDDなど）にコピーする。

それぞれの操作方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の［パソコン本体の使いかた］や「周辺機器のつなぎかた」をクリックして表示される情報をご覧ください。

！ご注意

- データを暗号化している場合は、解除してからバックアップしてください。また、専用のバックアップツールを用意しているソフトウェアの場合は、専用のバックアップツールをご使用ください。
- お使いの機種により、フロッピーディスクドライブやDVD-RW／CD-RWドライブが搭載されておらず、別売りの場合があります。バックアップなどで別売りのドライブが必要な場合、お客様にてご用意をお願いします。
- OSが起動しないなど、バックアップを行うことができない状態の場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

5 ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお引取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ（本機に付属しています。あらかじめご記入ください。）
- 保証書（保証期間中のみご用意ください。）
- 必要な付属品類

ヒント

梱包材の用意および梱包作業は、ソニー指定の配送業者が行います。修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。

6 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けいたします。

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望された方は、お届けした際に配達業者に修理費用をお支払いください。

！ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行っていただけますようあらかじめご了承ください。

「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について

VAIOカスタマーリンク ホームページおよびVAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話用サポートサイト）では、VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼された方に、下記のサービスをご提供しております。

修理／お預かり品状況確認（VAIOカスタマーリンク ホームページ）

修理の進み具合に応じて「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をご案内しております。

修理お預かり情報（VAIOカスタマーリンク モバイル）

お預かりしている修理品の進捗状況（7段階）ご案内、修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付、見積発行時／修理完了時のご案内を携帯メールにお知らせするサービスなどをご提供しています。

！ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合の修理完了日は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。
- 見積案内メール、修理完了案内メールを受信するには、事前にモバイルサイトでお客様の携帯メールアドレスご登録が必要です。

❑ VAIOカスタマーリンク ホームページで確認する

1 VAIOカスタマーリンクホームページの「修理・その他サービス」にアクセスし、「修理関連のご案内」にある［修理／お預かり品状況確認］をクリックする。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/

2 ページ下の画面下の［このサービスを利用する］をクリックする。

ここをクリックする

3 画面に従って操作する。

❑ VAIOカスタマーリンクモバイルで確認する

1 携帯電話でVAIOカスタマーリンクモバイルにアクセスする。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

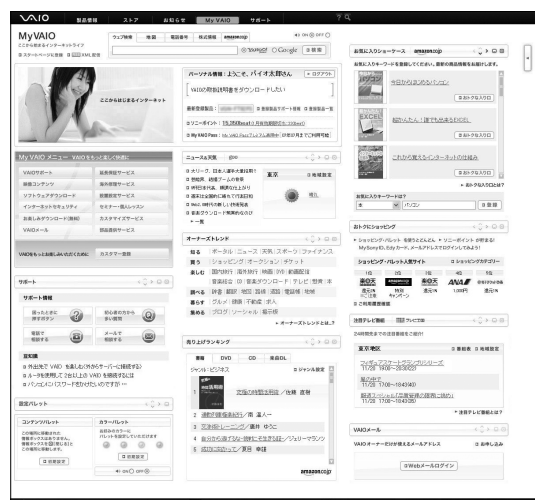
ヒント
バーコード(QRコード)の読み取りに対応した携帯電話では、下記のQRコードを読み取ることで、手軽にアクセスできます。

2 「サポート系コンテンツ」から「修理お預かり情報」を選択し、ページ内の"確認のページはこちら"をクリックする。

3 画面に従って操作する。

その他のサービスとサポート

バイオオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

（2007年2月現在）

❑ My VAIO

自分にぴったりのサービス・サポートが見つかります。ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、ログインすると、お客さまの登録製品情報やソニーポイント残高など、バイオでお楽しみいただくための最新情報を確認できます。
各種サービスは、My VAIOからご覧いただけます（一部サービスを除く）。

❑ My VAIO Pass

VAIOカスタマー登録をしていただくと、「My VAIO Pass」がご利用いただけます。
対象サービスを利用するたびにソニーポイントをためられます。たまったポイントは、別のサービスや、ショッピングに利用できます。
http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/

* ソニーポイントの獲得および利用は、対象サービスをインターネット経由で購入された場合に限ります。

❑ My VAIO Passプレミアム

「My VAIO Passプレミアム(有償)」なら、サービス利用ごとに加算されるソニーポイントが「My VAIO Pass」よりもアップ。たまったポイントを使ってさらにおトクにサービスを受けられます。
http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/

* ソニーポイントの獲得および利用は、対象サービスをインターネット経由で購入された場合に限ります。

対象サービスやサービスごとに加算されるソニーポイントなどの詳細については、ホームページをご覧ください。
ソニーポイント：ソニーグループの商品・サービスの購入・利用に使える共通のポイントシステム。獲得したポイントは、ソニーグループの多彩な商品・サービスに利用できます。

各種有料サービスのご案内

お客様の「スキル」や「目的」、「状況」に合わせた各種有料サービスメニューを豊富にご用意しました。
必要なときに必要なものを、お客様にご自由に選んでいただけます。
各種サービスは、バイオオーナー向けサイト My VAIOからご覧いただけます(一部サービスを除く)。
My VAIO
http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

!ご注意

2007年6月現在の情報になります。

❑ VAIO延長保証サービス

バイオを安心してお使いいただくための3年間保証サービスです。

ベーシック

1年間のメーカー保証を3年間に延長します。

ワイド

ベーシックに加え、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

!ご注意

- ご購入にはカスタマー登録が必要になります。
- ソニースタイルでご購入いただいたバイオは既に保証に加入済みのため、サービス対象外となります。

VAIO延長保証の特徴

- 修理回数無制限 *1
- 故障に関する自己負担金ゼロ *2
- お引取り・お届けの無料サービス
- 修理保証金額はずっと100% *2
- 書類の手続きは不要
- お申込期間が長い

*1　代替品提供の場合を除きます。
*2　代替品提供および偶然な破損事故等は、自己負担金額が生じます。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

❑ VAIO Overseas Service(海外修理サービス)

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料でお客様のノートブック型バイオの現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

!ご注意

- 一部の機種はサービス対象外となります。ご了承ください。
- ご購入にはカスタマー登録が必要になります。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/

❑ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。

メニュー例

VAIOはじめてパック【スタンダード】

VAIOの基本的な設置・設定、プリンターの接続・設定を行い、さらに基本操作を説明します。

インターネット設定パック

インターネットの接続・設定(有線・無線)、メール設定を行います。

VAIOはじめてパック【インターネット設定付き】

上記の2つがセットになったメニューです。バイオの設置・設定からインターネット、メールの接続・設定、基本操作の説明をします。

データお引越しパック

お持ちのPCから新しいバイオへ画像、文書ファイル、住所録などのオリジナルデータを移行します。

パソコンリカバリーパック

トラブルによるリカバリーとOSの再インストールを行います。

OSアップグレード

新しいOSにアップグレード作業を行います。

ロケーションフリー設定パック

ロケーションフリーの設置・設定を行います。

各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。
ホームページ
http://www.vaio.sony.co.jp/Setting/

デジホームサポートデスク
電話番号　:(0570) 073-111(一般及び携帯電話)
電話番号　:(03) 5789-3474(PHS・IP電話)
受付時間　10:00 ～ 18:00

❑ VAIOインターネットセキュリティ

「Norton Internet Security online」

ウイルス対策だけではなく、ブロードバンド環境に不可欠なファイアウォール機能やプライバシー制御、迷惑メール防止などの機能を兼ね備えた総合セキュリティ対策ソフトウェアです。

「Norton AntiVirus online」

インターネットや電子メールから不正進入してくるウイルスやワームを自動的にチェックし駆除するウイルス対策ソフトウェアです。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Vis/

❑ VAIOメール

バイオをお持ちの方に、「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスをご提供します。プロバイダを変更しても、同じメールアドレスをご使用いただけます。ネットワークライフを快適にする豊富な機能(Webメール、データ保管など)も充実しています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/

❑ VAIOソフトウェアセレクション

VAIOカスタマー登録をいただいたお客様へのソフトウェアのダウンロード販売サイトです。バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/

❑ セミナー・個人レッスン

セミナー
バイオの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。
個人レッスン
バイオの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。

お申し込み、講座内容や料金等詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Lesson/

❑ 部品の販売について

バイオをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。
購入可能な部品例
キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。
ご注文方法

- ソニーサービスステーション(SS)で、部品をご注文いただく方法(SS窓口でのお受け取りは、部品代のみのお支払いになります。)
- マイサポーター(87ページ)でWebより部品をご注文いただく方法(対象機種のみ)
(部品代+送料・代引き手数料1,155円(税込)がかかります。)

詳しくは、下記ホームページよりご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Parts/

!ご注意
ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。

❑ VAIOカスタマイズサービス

バイオをより快適にお使いいただくために、バイオ本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスをご用意しております。1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。(対象機種に限ります。)
HDDアップグレードサービス
ハードディスクドライブを大容量のものに交換します。動画を存分に楽しむためにも活用できます。
メモリアップグレードサービス
メモリの増設を行います。メモリーを多く搭載すると動作が安定し処理速度が向上します。
キーボード交換サービス
標準キーボードから、かな文字印刷のない、シンプルですっきりとしたデザインの英語配列キーボードに交換します。

各サービスについて詳しくは、下記ホームページよりご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/

❑ アップデートCD-ROM 送付サービス

ご所有機種に応じた各種サポートCD-ROMを有料で送付させていただくサービスをご用意しております。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/

❑ 訪問修理サービス

お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。(対象は一部機種を除いたデスクトップ型バイオのみとさせていただきます。)
ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行ないます。
技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前に「VAIOカスタマーリンクホームページ内」の訪問修理サービスをご確認ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。 以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。 なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。
FAX情報サービス
FAX番号:(0466)30-3040
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/fax.html

!ご注意
一部の機種では提供されません。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」(99ページ)をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

ヒント
本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。付属のソフトウェアを確認するには、「本機に付属されているソフトウェア」(124ページ)をご覧になるか、または(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]にポインタをあわせて表示されたメニューをご確認ください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]ー[ソフト紹介/問い合わせ先]ー[本機に付属されているソフトウェア]をクリックし、表示されたソフトウェア名をクリックする。

!ご注意

- Windows Vistaは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
  本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
  インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
  その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

OS

❑ Windows Vista(R) Home Premium

VAIOカスタマーリンク

AVエンターテインメント

❑ Windows(R) Media Center

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Media(R) Player

VAIOカスタマーリンク

テレビ

❑ VAIO Video Explorer

VAIOカスタマーリンク

❑ Emotional Player

VAIOカスタマーリンク

ビデオ再生

❑ WinDVD for VAIO

VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集

❑ VAIO Movie Story

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Content Importer

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Content Exporter

VAIOカスタマーリンク

❑ Image Converter 3

VAIOカスタマーリンク

DVD作成

❑ Click to DVD

VAIOカスタマーリンク

❑ Roxio Easy Media Creator

ロキシオ・サポートセンター
電話番号：(03) 5441-7460
受付時間：10時～12時、13時～17時
(土曜、日曜、祝日、年末年始等を除く)
電子メール：下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。
ホームページ：http://www.roxio.jp/support/

音楽

❑ SonicStage CP

VAIOカスタマーリンク

❑ SonicStage Mastering Studio

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO MusicBox

VAIOカスタマーリンク

❑ LifeFLOW

VAIOカスタマーリンク

静止画・写真

❑ Windows(R) フォトギャラリー

VAIOカスタマーリンク

❑ Picasa(TM)

ホームページ：
http://picasa.google.com/support/

ホームネットワーク

❑ VAIO Media

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Media Integrated Server

VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

❑ Skype

http://www.skype.com/intl/ja/

インターネット・メール

❑ Windows(R) メール

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows(R) Internet Explorer

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO リモコンブラウザー

VAIOカスタマーリンク

❑ Yahoo!ツールバー

ヤフー株式会社　Yahoo!ツールバーカスタマーサービス
電子メール：
https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback
※上記ホームページから送信いただけます。
ホームページ：http://www.yahoo.co.jp/
http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/index.html
（Yahoo!ツールバーヘルプページ）

セキュリティー

❑ Norton Internet Security(TM)

ソニーユーザ様向けサービスページです。
Norton Internet Securityに関するお問い合わせはこちらから！
http://www.symss.jp/jpo-sony-reg/

❑ i-フィルター 4（体験版）

デジタルアーツ株式会社　サポートセンター
電話番号：（月曜～金曜）：（03）3580-5678
（土曜、日曜、祝日、弊社定休日）：（0570）00-1334
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時、
土曜、日曜、祝日、デジタルアーツ株式会社定休日：
10時～ 20時
電子メール：p-support@daj.co.jp
ホームページ：http://www.daj.co.jp/
ユーザーサポートお問い合わせフォーム
https://sec2.daj.co.jp/userform/ask/form.htm

❑ McAfee SiteAdvisor Plus 30日期間限定版

マカフィー株式会社
電話番号：
マカフィー・テクニカルサポートセンター
（SiteAdvisor Plusに関する技術的な問い合わせ）
（0570）060-033（ナビダイヤル）
（03）5428-2279（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（SiteAdvisor Plusに関するユーザ登録や登録情報変更などの製品以外に関するお問い合わせ）
（0570）030-088（ナビダイヤル）
（03）5428-1792（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）
マカフィー・インフォメーションセンター
（SiteAdvisor Plusでのサイト評価に関する問い合わせ）
（0570）010-220（ナビダイヤル）
（03）5428-1899（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）
受付時間：
マカフィー・テクニカルサポートセンター
9時～ 21時（年中無休）
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
月曜～金曜：9時～ 17時（年末年始、祝日を除く）
マカフィー・インフォメーションセンター
月曜～金曜： 9時～ 17時（年末年始、祝日を除く）
電子メール：
以下のWebフォームをご利用ください。
マカフィー・テクニカルサポートセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp
マカフィー・インフォメーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info_redirect.asp
ホームページ：SiteAdvisor PlusのFAQ
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/SA/
マカフィー・テクニカルサポートセンターではチャットによるサポートもご提供しています。
チャット：
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp

ISPサインアップ

❑ So-netサービス紹介

ソネットエンタテインメント株式会社
So-netインフォメーションデスク
電話番号：
（一般固定電話から）（0570）00-1414
（携帯PHS・IP電話から）　札幌（011）711-3765
（携帯PHS・IP電話から）　仙台（022）256-2221
（携帯PHS・IP電話から）　東京（03）3513-6200
（携帯PHS・IP電話から）　名古屋（052）819-1300
（携帯PHS・IP電話から）　大阪（06）6577-4000
（携帯PHS・IP電話から）　広島（082）286-1286
（携帯PHS・IP電話から）　福岡（092）624-3910
受付時間：9時～ 21時（年中無休）
電子メール：info@so-net.ne.jp
ホームページ：http://www.so-net.ne.jp/support/

❑ BIGLOBEで光ブロードバンド

BIGLOBEカスタマーサポート　インフォメーションデスク
電話番号：（0120）86-0962（通話料無料）
（03）3947-0962（携帯電話、PHS、CATV電話の場合）
受付時間：9時～ 21時（365日受付）
ホームページ：https://my.sso.biglobe.ne.jp/support/

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Professional 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional 2007プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
Office Personal 2007は4インシデント（4件のご質問）、Office PowerPoint 2007は2インシデント（2件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、
土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、
土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007およびOffice PowerPoint 2007関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

実用ツール

❑ 乗換案内

乗換案内ユーザーサポート
電話番号：（03）5369-4055
受付時間：月曜～金曜：10時～ 17時
（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：（03）5369-4064
電子メール：norikae@jorudan.co.jp
ホームページ：http://norikae.jorudan.co.jp/

❑ デジタル全国地図

ゼンリンお客様相談室
電子メール：itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ：http://www.zmap.net/

❑ Adobe(R)（アドビ） Reader(R)（リーダー）

Adobe Reader（無償配布ソフトウェア）に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
ホームページ：http://www.adobe.com/jp/support/

❑ ジャストホームEX2（イーエックス）

ジャストシステムサポートセンター
電話番号：東京：（03）5412-3980 ／
大阪：（06）6886-7160
受付時間：平日：10時～ 19時、
土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ ATLAS（アトラス） 翻訳パーソナル LE（エルイー）

ATLASサポートセンター
電話番号：（03）5462-1934
受付時間：月曜～金曜：9時～ 12時、13時～ 17時
（祝日を除く）
ファックス番号：（03）5462-2344
電子メール：contact-atlas@cs.jp.fujitsu.com
ホームページ：http://software.fujitsu.com/jp/atlas/

ゲーム・学習

❑ 大富豪 Plus（プラス） 体験版

株式会社アンバランス　ユーザーサポート
電話番号：（03）5283-3625
受付時間：月曜～金曜：13時～ 18時（祝日を除く）
ファックス番号：（03）5283-3665
電子メール：support@unbalance.co.jp
ホームページ：http://www.unbalance.co.jp/

❑ AI（エーアイ）囲碁 for（フォー） Windows（ウィンドウズ） 体験版

株式会社イーフロンティア
電話番号：（03）3347-1126
受付時間：月曜～金曜：11時～ 13時、14時～ 17時
（年末年始、夏期休暇、祝日を除く）
ファックス番号：（03）3345-1127

❑ AI（エーアイ）将棋 for（フォー） Windows（ウィンドウズ） 体験版

株式会社イーフロンティア
電話番号：（03）3347-1126
受付時間：月曜～金曜：11時～ 13時、14時～ 17時
（年末年始、夏期休暇、祝日を除く）
ファックス番号：（03）3345-1127

❑ AI（エーアイ）麻雀 for（フォー） Windows（ウィンドウズ） 体験版

株式会社イーフロンティア
電話番号：（03）3347-1126
受付時間：月曜～金曜：11時～ 13時、14時～ 17時
（年末年始、夏期休暇、祝日を除く）
ファックス番号：（03）3345-1127

❑ AQUAZONE Open Water 体験版

ユーザーサポートセンター
電話番号：（03）5339-3610
受付時間：月曜～金曜：10時～ 17時
（年末年始、祝日を除く）
電子メール：support@e-frontier.co.jp
ホームページhttp://www.aztv.gr.jp/

❑ タイピング競馬 体験版

株式会社アンバランス　ユーザーサポート
電話番号：（03）5283-3625
受付時間：月曜～金曜：13時～ 18時（祝日を除く）
ファックス番号：（03）5283-3665
電子メール：support@unbalance.co.jp
ホームページ：http://www.unbalance.co.jp/

❑ ドラネットキッズ入学準備体験版

小学館　ドラネット事務局
電話番号：（0120）745-330
受付時間：火曜～金曜：10時～ 19時、土曜：10時～ 18時
（日曜、月曜、祝日は休み）
電子メール：info@doranet.ne.jp
ホームページ：http://www.doranet.ne.jp/

❑ ドラネット小学一年生体験版

小学館　ドラネット事務局
電話番号：（0120）745-330
受付時間：火曜～金曜：10時～ 19時、土曜：10時～ 18時
（日曜、月曜、祝日は休み）
電子メール：info@doranet.ne.jp
ホームページ：http://www.doranet.ne.jp/

❑ えいご漬け 改訂版（体験版）

プラト株式会社
電話番号：（03）3456-3803
受付時間：月曜～金曜：10時～ 19時
（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：（03）3456-3804
電子メール：support@plato-web.com
ホームページ：http://www.plato-web.com/

オンラインサービス

❑ サンリオBBご案内

サンリオBB　サポート窓口
電子メール：regi@sanriobb.com

❑ 医師に聞ける家庭の医学【AskDoctors】

ソネット・エムスリー株式会社　AskDoctors事務局
電子メール：info@askdoctors.jp
ホームページ：
http://www.askdoctors.jp/public/addInquiryForm.do

暮らし役立ちパック

❑ 筆ぐるめ

富士ソフト株式会社　インフォメーションセンター
電話番号：（03）5600-2551
受付時間：9時30分～ 12時、13時～ 17時
（土曜、日曜、祝日、および富士ソフトABC株式会社休業日を除く）
ファックス番号：（03）3634-1322
電子メール：users@fsi.co.jp
ホームページ：http://www.fsi.co.jp/fgw/

❑ 時事通信社「家庭の医学」PC版

株式会社時事通信出版局
デジタルコンテンツお問い合わせ担当
電話番号：（03）3591-8690
受付時間：月曜～金曜：10時～ 17時
（年末年始、祝日を除く）
電子メール：igaku@book.jiji.com
ホームページ：http://book.jiji.com/igaku2006/

❑ てきぱき家計簿マム

テクニカルソフト株式会社　サポートセンター
電話番号：（050）3085-3410（KDDI-IP電話）
受付時間：月曜～金曜：10時～ 17時
（祝日、テクニカルソフト株式会社休業日を除く）
ファックス番号：（050）3033-5041
電子メール：support@softnet.co.jp
ホームページ：http://www.softnet.co.jp/

FeliCa（フェリカ）

❑ かざそうFeliCa

VAIOカスタマーリンク

❑ Edy Viewer

Edy救急ダイヤル
電話番号：（0570）081-999（ナビダイヤル）
（03）6420-5699
受付時間：平日：9時30分～ 19時
土曜、日曜、祝日：10時～ 18時
（1/1 ～ 1/3と毎年2月第1日曜日を除く）
ホームページ：http://www.edy.jp/

❑ SFCard Viewer

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ スクリーンセーバーロック2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ かんたん登録2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ かざしてログオン

VAIOカスタマーリンク

❑ かざポン for VAIO

VAIOカスタマーリンク

❑ パーソナルシェルター

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ NFRMPCViewer

NFRM公式Webサイト
http://sony.nfrm.jp/

❑ FeliCaブラウザエクステンション

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

設定・ユーティリティ

❑ バイオの設定

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO ランチャー

VAIOカスタマーリンク

❑ 解像度設定ユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

❑ VAIOナビ

VAIOカスタマーリンク

❑ バイオ電子マニュアル

VAIOカスタマーリンク

❑ できるWindows Vista for VAIO

インプレスカスタマーセンター
電話番号：（03）5213-9295

❑ VAIO ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Update

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO リカバリセンター

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データリストアツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データレスキューツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データ消去ツール

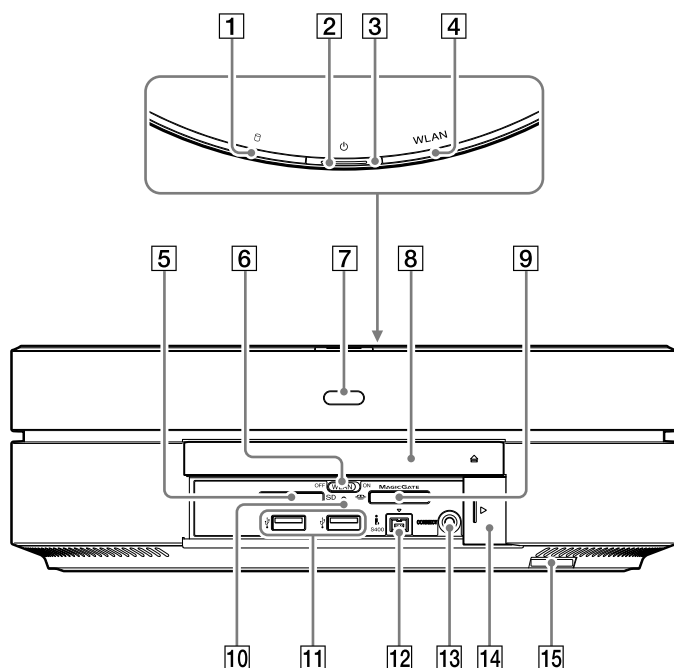
VAIOカスタマーリンク

その他

❑ VAIOオンラインカスタマー登録

ソニーマーケティング株式会社　カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

各部の説明

本体前面

1 (ディスク)アクセスランプ
CD、DVDやハードディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

2 **電源ランプ(18ページ)**
本機の電源が入っている間は、緑色に点灯します。スリープモードのとき、オレンジ色に点灯します。

3 **電源ボタン(18ページ)**
本機の電源を入れるときに押します。
本機の動作中にこのボタンを押すと、スリープモードに切り換わります。

4 **WLAN(ワイヤレスLAN)ランプ**
ワイヤレスLANが使える状態のとき、緑色に点灯します。

5 **SD(SDメモリーカード)スロット**
SDメモリーカードのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

6 **WLAN(ワイヤレスLAN)スイッチ**
ワイヤレスLANのオン／オフを切り換えます。

7 **リモコン受光部／ランプ**
リモコンの信号を受けます。信号を受信したときに点灯します。

8 **DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層記録対応)またはCD-RW ／ DVD-ROM一体型ドライブ**
CDやDVDのデータを読み込んだり、書き込んだりします(131ページ)。
以降、ドライブと略します。

9 **メモリースティックスロット**
"メモリースティック"のデータを読み込んだり、書き込んだりします。

ヒント
本機のメモリースティックスロットは、メモリースティック デュオ アダプターを使用せずに"メモリースティック デュオ"をそのまま使えます。

10 メモリーカードアクセスランプ

"メモリースティック"やSDメモリーカードのデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

!ご注意

データ読み込み中やデータ書き込み中に"メモリースティック"やSDメモリーカードを取り出さないでください。

11 USBコネクタ

USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

12 i.LINK S400コネクタ(4ピン)

i.LINK対応機器をつなぎます。

!ご注意

デジタルハイビジョン機器をつなぐことはできません。

13 CONNECT(コネクト)ボタン

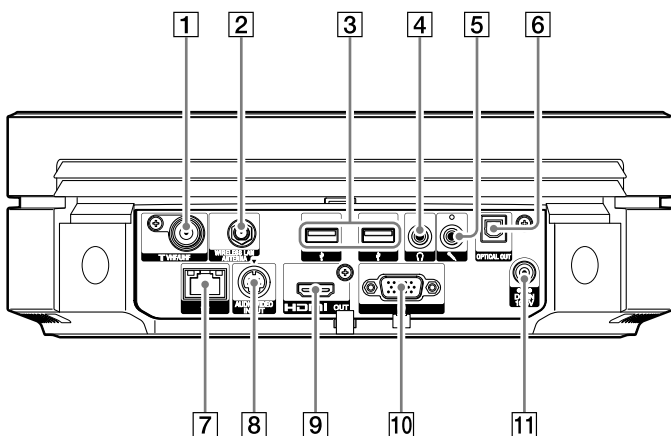
付属のワイヤレスキーボードを本体に認識させるために使用します。

14 フロントドア

▷に指をかけて、右へスライドして開きます。半分程度まで開けると自動的に開きます。閉じるときも、左側に半分程度スライドすると自動的に閉じます。

15 IDラベル

型名が記載されています。

本体後面

1 VHF / UHF(アンテナ)コネクタ

アンテナをつないで、地上アナログ放送のテレビ番組を見ることができます。

2 WIRELESS LAN ANTENNA(ワイヤレスLANアンテナ)コネクタ

付属のワイヤレスLANアンテナを接続します。

3 USBコネクタ

USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

4 (ヘッドホン出力)コネクタ

市販のヘッドホンをつなぎます。

5 (マイク入力)コネクタ

市販のステレオマイクをつなぎます。

6 OPTICAL OUT(光デジタル出力)コネクタ

AVアンプなどのデジタル機器につなぎます。
本機で再生する音楽CDなどの音声を、つないだデジタル機器に出力するときに使います。

7 **LANコネクタ**

ネットワーク(LAN)とつなぎます。

!ご注意

LANコネクタには指定以外のネットワーク(LAN)や電話回線を接続しないでください。お買い上げ時にはLANコネクタ上に誤って接続しないようにシールが貼られています。LANコネクタを使うときは、シールをはがしてから接続してください。

8 **AUDIO ／ VIDEO INPUT(音声／映像入力)コネクタ**

AV変換アダプター(付属)を使って、ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの音声／映像出力コネクタとつなぎます。

9 **HDMI OUT(エイチディーエムアイ出力)コネクタ**

テレビをつなぎます。付属のHDMI－DVI-D変換アダプターを使って、DVI端子のあるテレビやディスプレイなどに接続できます。

10 **モニタコネクタ**

ディスプレイをつなぎます。

11 ⊖-⊙-⊕ **DC IN 19.5Vコネクタ**

ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

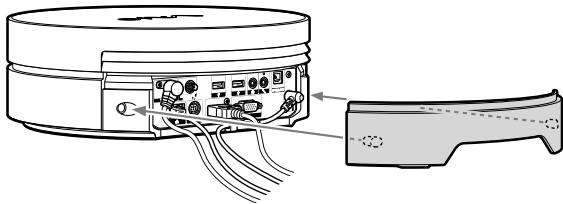
!ご注意

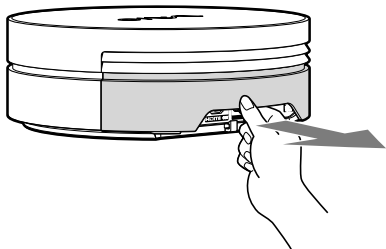
使用中に、本体後面の左上部通風口の温度が上がることがあります。この部分に触れるときは、充分ご注意ください。

リアカバーの取り付けかた／はずしかた

本体の後面には、コネクタ保護用のリアカバーを取り付けることができます。本体後面のコネクタにケーブル類を接続するときには、リアカバーをはずしてください。

リアカバーを取り付けるには

リアカバーの両端を本体のへこみに合わせます。ケーブルはリアカバーの下側のへこみ部分に通します。

リアカバーをはずすには

リアカバーを手前に引きます。

!ご注意

- リアカバーをしっかり取り付けていないと、本体後面に接続したケーブル類に力を加えた際、リアカバーがはずれる場合があります。はずれたリアカバーを踏むなどして、けがの原因となることがありますのでご注意ください。
- 接続するコネクタの種類、大きさによっては、リアカバーを取り付けることができない場合があります。このような場合には、リアカバーを取り付けずにお使いください。

キーボードの各部名称

表面

1 **Esc(エスケープ)キー**

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

2 **ファンクションキー**

使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくはWindowsのヘルプまたは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

3 **ショートカットボタン**

これらのボタンを押すだけで、好みのソフトウェアなどを起動します。

4 **(電源／スタンバイ)ボタン**

本機の電源を入れるときに押します。また、本機の電源が入っているときに押すと、スリープモードに切り換わります。再び押すと、スリープモードから復帰します。

5 **各種インジケーター**

- Num Lock(ナム・ロック)インジケーター
  Num Lock(ナム・ロック)が有効になっている場合に表示されます。
- Caps Lock(キャプス・ロック)インジケーター
  Caps Lock(キャプス・ロック)が有効になっている場合に表示されます。
- Scroll Lock(スクロール・ロック)インジケーター
  Scroll Lock(スクロール・ロック)が有効になっている場合に表示されます。
- (コネクト)インジケーター
  キーボードは が表示されているときに使用できます。
  が消えているときは、コネクトが切れている状態です。
- (バッテリー)インジケーター
  キーボードの乾電池の残量が充分な場合は が、残り少ない場合は が表示されます。

!ご注意

FeliCa使用時に乾電池の残量が少なくなると が点滅します。 が点滅したときは、FeliCaの動作が不安定になることがありますので、乾電池を交換してください。

- (FeliCa)インジケーター
  キーボード側のFeliCaポート(FeliCa対応リーダー／ライター)の準備が完了している場合に表示されます。

ヒント

(FeliCa)ボタンを押してから2分で (FeliCa)インジケーターは消えます。また、ポーリング中は点滅します。カードとの通信中は点滅が早くなります。

!ご注意

20分間以上キーボードで操作しないと、インジケーターの表示が消えます。この場合、キーボードと本体のコネクトが切れていることがあるので、Fnキーを押し、Ψ（コネクト）インジケーターが表示されていることを確認してから使用してください。

6 (FeliCa)ボタン

FeliCa対応のカードなどを使うときに押します。

7 電源スイッチ

キーボードの電源をオン／オフします。長時間使用しないときは、「OFF」にすることをおすすめします。

8 電源状態表示

キーボードの電源が入っているときに緑色が表示されます。

9 Delete ／ Break（デリート／ブレイク）キー

画面のカーソル上の文字を消すときに押します。

10 Backspace（バックスペース）キー

画面上のカーソルの左の文字を消すときに押します。

11 Insert ／ Pause（インサート／ポーズ）キー

文字を挿入するか、上書きするかを切り換えます。

12 Prt Sc ／ Sys Rq（プリントスクリーン／システムリクエスト）キー

デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

13 NumLk ／ ScrLk（ナム・ロック／スクロール・ロック）キー

テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lk（ナム・ロック）キーを押すと、キーボードの右上にある Num Lock（ナム・ロック）インジケーターが表示され有効になります。もう1度Num Lkキーを押すと無効になります。

14 Caps Lock（キャプス・ロック）キー

Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押し、Caps Lock（キャプス・ロック）インジケーターが表示されているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。

もう1度、Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押すと、Caps Lock（キャプス・ロック）が無効になり、アルファベットの小文字入力に戻ります。

ヒント

FキーとJキーに突起がついています。

15 Shift（シフト）キー

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。Caps Lock（キャプス·ロック）インジケーターが表示されている状態で、このキーを押しながら文字キーを押した場合は、小文字を入力できます。

16 Ctrl（コントロール）キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

17 Fn（エフエヌ）キー

キーボード上で青字で表示されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

18 Windows（ウィンドウズ）キー

Windowsのスタートメニューが表示されます。

19 Alt（オルト）キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

20 タッチパッド

マウスの代わりに画面上のポインタを動かしたり、クリックしたり、ドラッグしたりすることができます。

21 スペースキー

文字を入力しているとき、このキーを押すと、スペースを挿入できます。

22 アプリケーションキー

タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

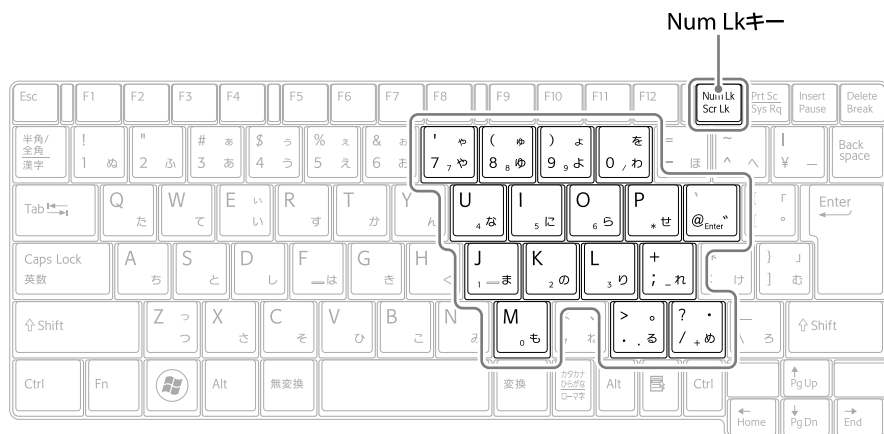
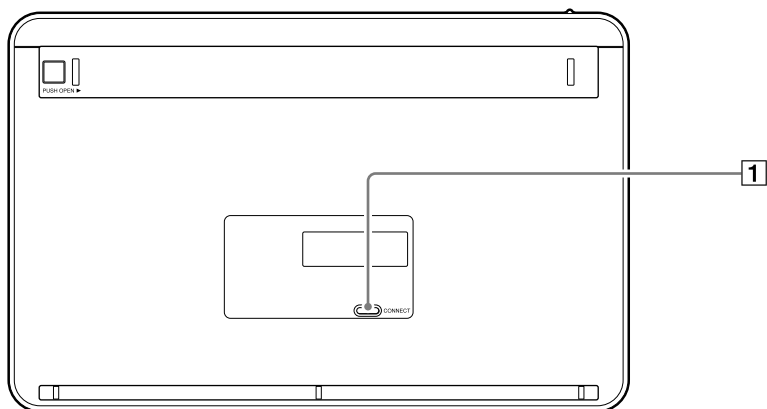
23 FeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）

FeliCa対応のカードなどを読み取ります。

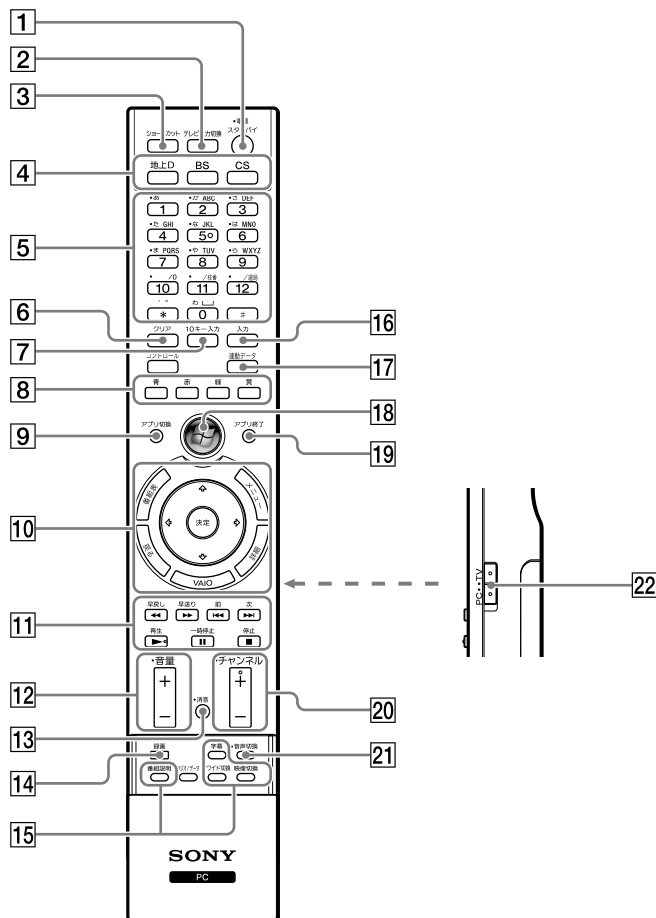
24 矢印キー

画面上のカーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示するときなどに使います。Fnキーと組み合わせて使うと、PgUp（ページアップ）キーやPgDn（ページダウン）キーなどとして使えます。

テンキー

Num Lk(ナム・ロック)キーを押し、キーボードの右上にある 🔒 Num Lock(ナム・ロック)インジケーターが表示されているときにこれらのキーを押すと、キーの下部に印字されている数字を入力できます。
例）Uキーを押すと「4」が入力されます。

裏面

1 CONNECT(コネクト)ボタン

キーボードを本機に認識させるために使用します。

リモコンの各部名称

1 **電源／スタンバイボタン**

本機の動作中に押すと、スリープモードになります。再び押すと、スリープモードから復帰します。

!ご注意

次の場合は、スリープモードには入れません。

- 録画中
- DVDの作成中
- 録画予約処理中（予約録画開始前など）
- リモート録画予約の通信中（リモート録画予約機能を設定している場合）

2 **テレビ入力切換ボタン**

テレビの外部入力を切り換えます。

3 **ショートカットボタン**

アナログテレビチューナー搭載モデルの場合は、Windows Media Centerのテレビが起動します。

デジタルテレビチューナー同梱モデルの場合は、「VAIO Digital TV」ソフトウェアをインストールすると、「VAIO Digital TV」ソフトウェアが起動します。

4 **地上D ／ BS ／ CSボタン**

デジタルテレビチューナーを接続しているときに、それぞれ地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送に切り換えます。

5 **チャンネル数字／文字入力ボタン**

チャンネルを選択したり、文字を入力するときに使います。

5ボタンに突起が付いています。

ヒント

チャンネル数字ボタンの割り当ては変更できます。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

!ご注意

録画中は、チャンネルを切り換えることはできません。

6 **クリアボタン**

文字入力時に文字を消去したい場合に使います。

7 **10キー入力ボタン**

デジタルテレビチューナーを接続しているときに、ダイレクト選局（3桁入力）でチャンネルを切り換えることができます。

8 **カラーボタン**

データ放送や双方向サービスなどを利用する場合に使います。

9 **アプリ切換ボタン**

手前に表示されているソフトウェアを他のソフトウェアに切り換えたい場合に使います。

10 **操作ボタンA**

Windows Media Centerやデジタル放送で番組表やメニューを操作するときに使います。

11 **操作ボタンB**

映像や音楽の再生操作に使います。

12 **音量ボタン**

音量を調節します。

!ご注意

ディスプレイやスピーカーで調節した音量以上の大きさにはなりません。

13 **消音ボタン**

一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。

14 **録画ボタン**

テレビ番組の録画を開始します。

15 **操作ボタンC**

デジタルテレビチューナーを接続しているときに、デジタル放送の操作に使います。

16 **入力ボタン**

Windows Media Centerでキーワード検索などを行う場合に、文字を入力したあと決定するときに使います。

17 **連動データボタン**

デジタルテレビチューナーを接続しているときに、データ放送のコンテンツを表示します。

18 **Windowsボタン**

Windows Media Centerを起動します。

19 **アプリ終了ボタン**

手前に表示しているソフトウェアを終了します。

20 **チャンネルボタン**

チャンネルを切り換えるときに使います。
＋ボタンに突起が付いています。

21 **音声切換ボタン**

デジタルテレビチューナーを接続しているときに、複数の音声がある番組を見ているときに音声を切り換えることができます。
ボタンに突起が付いています。

22 **PC ／ TVスイッチ**

本機の操作を行う場合はスイッチを「PC」に、市販のテレビを操作する場合は「TV」に切り換えます。

主な仕様

VGX-TP1VSをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

シリーズ			TV Side PC	
モデル			VGX-TP1DTV	VGX-TP1V
OS			Windows Vista® Home Premium 正規版	
テクノロジー			インテル® Viiv™ テクノロジー	
プロセッサー [*1*2]	名称		インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T5600	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T5500
チップセット			インテル® 945GM Express チップセット	
メインメモリー	標準/最大		1GB(512MB×2) /2GB[*3](ビデオメモリー共有)	
	メモリーバス		DDR2 SDRAM、DDR2 667対応(667MHz動作) デュアルチャンネル転送対応[*4]	
	スロット数(空き)		SO-DIMMスロット×2(0)	
表示機能	グラフィックアクセラレーター		インテル® グラフィックス・メディア・アクセラレーター 950(チップセットに内蔵)	
テレビ機能	デジタルチューナー		地上・BS・110度CSデジタルチューナー×1 (付属VGF-DT1)	-
	アナログチューナー		アナログチューナー×1	
記憶装置	ハードディスクドライブ[*5]	ドライブ	約500GB	約250GB
	DVD/CDドライブ[*6*7]	ドライブ	DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層記録対応)	
		対応メディア (読みだし)	DVD、CD	
		対応メディア (書きこみ)	DVD+R(2層、1層) [*8]、DVD+RW、DVD-R(2層、1層) [*9*10]、DVD-RW[*11]、DVD-RAM[*12]、CD-R、CD-RW	
ワイヤレス通信[*13]			ワイヤレスLAN(内蔵)(IEEE802.11b/g準拠、WPA2対応、Wi-Fi適合) [*14*15]	
FeliCaポート(非接触ICカードリーダー /ライター)			搭載(キーボードに内蔵)	
メモリースティックスロット[*16]			メモリースティック (標準/Duoサイズ対応、メモリースティック PRO対応、高速データ転送対応、マジックゲート対応)×1	
その他対応メモリーカードスロット[*17]			SDメモリーカード/マルチメディアカード(MMC)×1	
電源			ACアダプター(AC100 ～ 240V、50/60Hz)(付属電源コードはAC100V用) [*18]	
消費電力	通常時		約30W[*19]	約28W[*19]
	スリープ時		約2.8W	
温湿度条件			動作時:10 ～ 35℃、40 ～ 80% 保存時:-20 ～ 60℃ (ただし結露しないこと)	
外形寸法			VGX-TP1V:約 直径270mm×高さ91mm、 VGF-DT1:約 直径270mm×高さ51mm	約 直径270mm×高さ91mm
質量			VGX-TP1V:約3.7kg、VGF-DT1:約1.7kg	約3.7kg

*1 プロセッサーの処理能力は、使用状況により変化します。
*2 VAIOは、インテル® バーチャライゼーション・テクノロジーには対応していません。
*3 メモリーを最大に増設するには出荷時に装着済のメモリーモジュールを取り外す必要があります。
*4 シングルチャンネル(2枚1組でない)転送はパフォーマンスが不足する場合があります。デュアルチャンネル(2枚1組)転送でお使いください。
*5 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。ファイルシステムはNTFSです。
*6 本機のドライブは8cmディスクの書きこみには対応していません。
*7 使用するディスクによっては一部の記録/再生に対応していない場合があります。
*8 DVD+R DL(Double Layer)の書きこみは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクでのみ可能です。
*9 DVD-R DL(Dual Layer)の書きこみは、「Dual Layer DVD-R」に対応したDVD-Rディスクのみ可能です。
*10 DVD-Rは、「DVD-R for General Version 2.0/2.1」に準拠したディスクの書きこみに対応しています。
*11 DVD-RWは「DVD-RW Ver.1.1/1.2」に準拠したディスクの書きこみに対応しています。
*12 DVD-RAM Ver.1(片面2.6GB)の書きこみには対応していません。DVD-RAM Ver.2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応していません。カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。
*13 通信速度(IEEE 802.11b:規格値11Mbps、IEEE 802.11a/g:規格値54Mbps、IEEE 802.11n ドラフト:規格値144Mbps、Bluetooth 2.0+EDR:規格値2.1Mbps)は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波状況により通信が切断される場合があります。通信速度の規格値は、無線規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
*14 IEEE 802.11gは、IEEE 802.11bとの混在環境では相互に干渉の恐れがあり、通信速度が低下する場合があります。IEEE 802.11nは、IEEE 802.11aもしくはIEEE 802.11b/gとの混在環境では、相互に干渉の恐れがあり、通信速度が低下する場合があります。
*15 IEEE 802.11b/gについては、1 ～ 13チャンネルに対応しています。
*16 機器により使用できるメモリースティックの容量に制限があります。
使用する機器の取扱説明書、あるいはソニードライブの「メモリースティック対応表 www.sony.co.jp/mstaiou」をご確認ください。
*17 SDメモリーカードの著作権保護機能には対応していません。
*18 その他の仕様については、ACアダプタのラベルをご覧ください。
*19 OSを起動させたアイドル状態での測定値です(2007年9月より)。出荷時構成、周辺機器の接続なし。

テレビチューナー

■アナログチューナー (MPEGハードウェアエンコーダーボード)の主な仕様

VGX-TP1DTV・TP1V
●ビデオキャプチャー機能(ビデオ入力→リアルタイム変換機能)、テレビ録画機能搭載 ●TVチューナー(VHF1～12ch、UHF13～62ch、CATV C13～C38ch[*1]、ステレオ/2カ国語) ●録画モード(選択可能) [*2]: 最高品質 (MPEG2 7.5Mbps 720×480 30fps) 約3.3GB/1時間 高品質 (MPEG2 4.65Mbps 720×480 30fps) 約2.1GB/1時間 標準 (MPEG2 3.25Mbps 720×480 30fps) 約1.5GB/1時間 長時間 (MPEG2 2.75Mbps 720×480 30fps) 約1.3GB/1時間

*1 CATVの受信サービス(放送)の行われている地域でのみ受信可能です。また、アンテナ接続でのみ視聴・録画が可能です。
スクランブルのかかった放送や著作権保護のための信号が記録されている番組の視聴・録画には制限がかかる場合があります。詳しくは、その地域のCATV会社にお問い合わせください。
*2 HDD録画容量は、録画1時間あたりのHDD使用量のめやすです。

本機に付属されているソフトウェア

ご使用いただいている機種によって、付属されているソフトウェアが異なります。
次の表をご覧いただき、ご使用いただいている機種に付属されているソフトウェアをご確認ください。
各ソフトウェアの概要については、「バイオ電子マニュアル」の［ソフトウェアの使いかた］－［ソフト紹介／問い合わせ先］－［本機に付属されているソフトウェア］でソフトウェア名称をクリックするとご確認いただけます。

表の見かた

○：ご使用の機種に付属されています。
□：ご使用の機種にインストーラーが付属されておりますので、ソフトウェアをお使いいただくときに個別にインストールしてください。
－：ご使用の機種には付属されておりません。

	VGX-TP1VS	VGX-TP1DTV・TP1V
OS		
Windows Vista(R) Home Premium	○	○
AVエンターテインメント		
Windows(R) Media Center	○	○
Windows Media(R) Player 11	○	○
テレビ		
VAIO Video Explorer	○／－*	○
Emotional Player	○／－*	○
ビデオ再生		
WinDVD for VAIO	○	○
ビデオ編集		
VAIO Movie Story	○	○
VAIO Content Importer	○	○
VAIO Content Exporter	○	○
Image Converter 3	○	○
DVD作成		
Click to DVD	○／－*	○
Roxio Easy Media Creator	○	○
音楽		
SonicStage CP	○	○
SonicStage Mastering Studio	○	○
VAIO MusicBox	○	○
LifeFLOW	○	○
静止画・写真		
Windows(R) フォトギャラリー	○	○
Picasa(TM)	○	○
ホームネットワーク		
VAIO Media	○	○
VAIO Media Integrated Server	○	○
コミュニケーション		
Skype	○	○
インターネット・メール		
Windows(R) メール	○	○
Windows(R) Internet Explorer 7	○	○
VAIO リモコンブラウザー	○	○
Yahoo!ツールバー	○	○
セキュリティー		
Norton Internet Security(TM) 2007	○	○
i-フィルター 4（体験版）	○	○
McAfee SiteAdvisor Plus 30日期間限定版	○	○

	VGX-TP1VS	VGX-TP1DTV・TP1V
ISPサインアップ		
So-netサービス紹介	○	○
BIGLOBEで光ブロードバンド Ver3.01	○	○
ワープロ・表計算		
Microsoft(R) Office Personal 2007	○／－*	－
Microsoft(R) Office Professional 2007	○／－*	－
Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007	○／－*	－
実用ツール		
乗換案内VER.5	○	○
デジタル全国地図	○	○
Adobe(R) Reader(R) 8.1	○	○
ジャストホームEX2	○／－*	－
ATLAS 翻訳パーソナル 2007 LE	○	○
ゲーム・学習		
大富豪 Plus5 体験版	○	○
AI囲碁 Version 15 for Windows 体験版	○	○
AI将棋 Version 14 for Windows 体験版	○	○
AI麻雀 Version 9 for Windows 体験版	○	○
AQUAZONE Open Water 体験版	○	○
タイピング競馬 体験版	○	○
ドラネットキッズ入学準備体験版	○	○
ドラネット小学一年生体験版	○	○
えいご漬け 改訂版（体験版）	○	○
オンラインサービス		
サンリオBBご案内	○	○
医師に聞ける家庭の医学【AskDoctors】	○	○
暮らし役立ちパック		
筆ぐるめ Ver.14	○	○
時事通信社「家庭の医学」PC版	○	○
てきぱき家計簿マム5	○	○
FeliCa（フェリカ）		
かざそうFeliCa	○	○
Edy Viewer V2.1	○	○
SFCard Viewer	○	○
スクリーンセーバーロック2	○	○
かんたん登録2	○	○
かざしてログオン	○	○
かざポン for VAIO	○	○
パーソナルシェルター	○	○
NFRMPCViewer	○	○
FeliCaブラウザエクステンション	□	□
設定・ユーティリティ		
バイオの設定	○	○
VAIO ランチャー	○	○
解像度設定ユーティリティ	○	○
サポート・ヘルプ		
VAIOナビ	○	○
バイオ電子マニュアル	○	○
できるWindows Vista for VAIO	○	○
VAIO ハードウェア診断ツール	○	○
VAIO Update Ver.3.0	○	○
VAIO リカバリセンター	○	○
VAIO データリストアツール	○	○
VAIO データレスキューツール	○	○
VAIO データ消去ツール	○	○
その他		
VAIOオンラインカスタマー登録	○	○

* ご購入時に選択されたモデルによって、付属されるソフトウェアは異なります。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 本機は精密機器であるため、ほこりが多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近くに置かないでください。故障の原因となることがあります。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に暖まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。
何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買い上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。

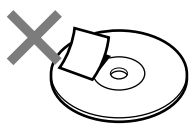
ハードディスクのバックアップについて

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめします。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。データの損失については、一切責任を負いかねます。

ディスクの取り扱いについて

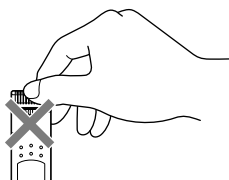
ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面(再生面)に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

“メモリースティック”に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 端子部には手や金属で触れないでください。

- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力がかからないようご注意ください。
- 挿入するときは、“メモリースティック”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”本体を破損するおそれがあります。
- “メモリースティック”と“メモリースティック デュオ”は同時に差し込まないでください。本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”本体が破損するおそれがあります。

“メモリースティック マイクロ”使用上のご注意

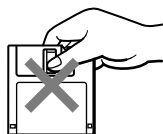
- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をメモリースティック マイクロ アダプターに入れてからお使いください。
- メモリースティック マイクロ アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターに“メモリースティック マイクロ”を入れ、さらにそれをメモリースティック デュオ アダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。メモリースティック マイクロ スタンダードサイズ アダプターをお使いください。
- “メモリースティック マイクロ”、メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

“メモリースティック”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

“メモリースティック”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器(デジタルスチルカメラやオーディオ機器など)で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめフォーマット(初期化)してからご使用ください。
機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリーカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると本体内部にディスクが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- IEEE802.11a準拠のワイヤレスLAN機能とIEEE802.11b/g準拠のワイヤレスLAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- 緊急でワイヤレスLAN機能を停止させる必要がある場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[LAN／ワイヤレスLAN]－[ワイヤレスLANで通信する]をクリックする。)

ACアダプタについてのご注意

- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

CD再生／録音についてのご注意

- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- 高速読み書き対応のドライブを搭載しているため、ディスクの状態によっては回転音が気になる場合がありますが、機能に問題はありません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
ただし、この音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証できません。

ドライブの地域番号書き換えについて

お買い上げ時、本機のドライブの地域番号は「2」（日本）に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は、録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows Vista用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。
ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作の保証はいたしかねます。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

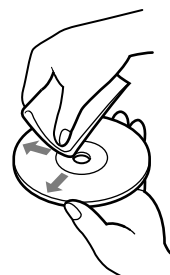
本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みの上、お使いください。

お手入れ

本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

ディスクのお手入れについて

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

キーボードのお手入れ

キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。
  キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

!ご注意

- お手入れをするときは必ず乾電池を抜いてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。
データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化(フォーマット)する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。

データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクのデータを完全に消去する
  VAIO データ消去ツールについて詳しくは、60ページをご覧ください。
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOカスタマーリンク ホームページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクを破壊する
  ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

使用できるディスクとご注意

使用できるディスク

◎：再生、記録可能

○：再生のみ可能、記録不可

×：再生、記録不可

DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
Video CD	○

CD-RW ／ DVD-ROMドライブ

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	○
DVD-R DL（Dual Layer）	○
DVD+R ／ RW	○
DVD-R ／ RW	○
DVD-RAM	×
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
Video CD	○

*1　DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。

*2　DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。

*3　DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0 ／ 2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*4　DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1 ／ 1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*5　DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*6　DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状ディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW ／ DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ CD-R ／ CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRMに対応したDVD-RW ／ DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。
  * CPRM：Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R ／ CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL ／ DVD-R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやタッチパッドの操作をすると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしないでください。

索引

■ は、「接続と設定ガイド」のページ番号です。

【マ行】

【ヤ行】

【ラ行】

【ワ行】

【A】

【C】

【D】

【E】

【F】

【H】

【I】

【L】

【M】

【N】

【O】

【P】

【S】

【T】

【U】

【V】

【W】

【数字】

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、"Memory Stick"、"メモリースティック"、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、"マジックゲート メモリースティック"、"メモリースティック PRO"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG"、"メモリースティック マイクロ" はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。
  i.LINKとi.LINKロゴ" " はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- 「テレビ王国」はソネットエンタテインメント株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy(エディ)」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAIの登録商標です。
- TOICAは、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークスの商標です。
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Windows Media、Officeロゴ、PowerPoint、Outlook、Excel、InfoPath、WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Multichannel Inflator for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003-2005 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager, Renaissance Bass, S360 Surround Imager plug-ins by Waves Audio Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc.
  Copyright (C) QSound Labs, Inc. 1998-2005. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- Powered by CyberSupport.
  「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

困ったときは

VAIOカスタマーリンク
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

バイオをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは84ページをご覧ください。）

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO
http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とバイオの各種サービスをご覧いただけます。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ
http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
（0466）30-3000

受付時間
平日：10時〜 21時
土、日、祝日：10時〜 17時

本機の型名をご確認ください。（保証書または各部の説明のIDラベルに記載されています。）
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発およびサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報お取り扱いについては、My VAIOの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer2/)をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
ゼロヨンロクロク サンハチ イチヨンイチゼロ
（0466）38-1410

受付時間
平日：10時〜 18時
（年末年始は除く）

有料サービス

My VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ VAIO延長保証サービス

1年間のメーカー保証を3年間に延長する「ベーシック」。さらに「ワイド」なら、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

■ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

■ VAIO Overseas Service（海外修理サポートサービス）

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料で現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

■ VAIOインターネットセキュリティ

インターネットライフをより安心・快適に。あなたのVAIOをウイルス対策やファイアウォール機能などで守ります。

■ VAIOソフトウェアセレクション

おすすめのアプリケーションから楽しいゲームまで、ここだけでしか手にはいらない限定品が手に入るソフトウェアダウンロードショップ。

※詳細は、My VAIOメニューの各種サービスからご確認いただけます。

VAIOカスタマーリンク

使いかたのお問い合わせ　電話番号（0466）30-3000

※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

3-274-823-**01** (1)